



AXIS 5600+ と AXIS 5400+
ユーザーズマニュアル

2003 年 6 月発行 第 2 版

安全のために

本製品を安全にご利用頂くために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告! データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。

重要: 操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

異常時の処理について

警告 万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を落したり、ケースを破損した場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて



警告

本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。

本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。

弊社の指示がない限り、本装置を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

弊社の指示がない限り、本装置のケースを外さないでください。電源部や内部に触れると火傷、感電、故障の原因となります。

ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



注意

移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線はずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。

電源について



警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ(プラグ)の刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にまげたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災、感電、故障の原因となります。



注意

電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持ってぬいでください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。

設置場所について



注意

直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は安全のために電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。



注意

アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。

静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリ等を取り除いてください。

まえがき

Web ブラウザ

性能を十分に引き出すために、JavaScript に対応した Internet Explorer 4.0 以上、または Netscape Navigator 4.0 以上の Web ブラウザを使用してください。

その他の商標

AIX、Apple、DOS、Ethernet、EtherTalk、HP、IBM、JetAdmin、Java、Netscape、インターネットエクスプローラ、LAN Server、Macintosh、Microsoft、Novell NetWare、OS/2、PostScript、UNIX、Windows、その他このマニュアルに記載のプログラム、規格などの商品名、または製品名は、一般的に各社の商標、または登録商標です。

責任

Axis は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また Axis は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。Axis は、Axis 製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。Axis は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切いたしません。

電波に関する適合性 (EMC)

- 日本 -** AXIS 5600+, および AXIS 5400+ は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 米国 -** This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy, and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna
 - Increase the separation between the equipment and the receiver
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected
 - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help
- Shielded (STP) network cables must be used with this unit to ensure compliance with the class B limits.
- 欧州 -** This digital equipment fulfils the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022/1998, and the requirements for immunity according to EN55024/1998 residential, commercial, and light industry (Compliance is not valid for unshielded network and printer cables). 

このマニュアルについて

AXIS 5600+、AXIS 5400+（以下、Axis プリントサーバ）をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。Axis プリントサーバは、お使いのプリンタをネットワーク上に自由に接続し、すべてのネットワークユーザが共有プリンタを利用できるようにします。

このマニュアルは、製品ソフトウェア（ファームウェア）リリース 6.34 以上を搭載した AXIS 5600+ および AXIS 5400+ に適用されます。

このマニュアルに記載されている手順は、初めて Axis プリントサーバを使用する際に必要となる設定に基づいています。既に使用している Axis プリントサーバをこの手順にしたがって設定する場合は、まず Axis プリントサーバを工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。詳しくは、120 ページ「工場出荷時のデフォルト設定」を参照してください。

このマニュアルには、基本的な情報、および様々なネットワーク環境における Axis プリントサーバのインストール、また管理方法が記載されています。このマニュアルを最大限に活用するには、ネットワークの基礎知識が必要となります。

Axis について

Axis Communications は、ネットワークに接続されたコンピュータ周辺機器に対する革新的なソリューションを提供します。1984 年の創立以来、市場においても最も急速に成長している企業の一つであり、この分野におけるリーダー的存在です。

ThinServer™ テクノロジ

ThinServer テクノロジにより、Axis 製品はファイルサーバに依存しない、インテリジェントな ThinServer デバイスとして動作します。ThinServer デバイスは、マルチプロトコル通信、スケーラブルな RISC ハードウェア、標準的な Web ブラウザを利用した簡単なアクセスおよび管理を可能にする、内蔵 Web サーバ機能を備えた「スリム」なサーバソフトウェアを含むネットワークサーバです。ThinServer テクノロジは、様々な電子デバイスをネットワークに接続することを可能にし、「あらゆるものへのアクセス」を提供します。

ネットワークプリントサーバ

ネットワーク上でプリンタを共有する、強力かつ経済性に優れた手段を提供します。標準的なプリンタと接続し、高性能かつ簡単な管理、さらにネットワーク経由でのアップグレードなどの機能を提供しています。ネットワークプリントサーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版があります。

ネットワークカメラ

標準的なインターネット技術を利用し、お使いの Web ブラウザからカメラサーバにアクセスしてライブ画像を楽しむことを可能にします。インターネットを利用したリモート監視を行うためのソリューションを提供するとともに、そのシャープな画像は Web サイトに活気をもたらします。カメラサーバは、イーサネットおよびファーストイーサネット、公衆電話回線に対応しています。

ネットワークドキュメントサーバ

ネットワークを利用し、紙をベースとした情報を簡単に配布することを可能にします。読み込んだドキュメントをインターネット / イン트라ネット経由で送信することにより、ファックスおよび郵便のコスト削減や作業時間の短縮など、組織の作業効率の向上に役立ちます。

サポートサービス

インターネットがご利用になれる場合は、技術サポート情報、更新された製品ソフトウェア（ファームウェア）、ユーティリティソフトウェア、会社情報など、Axis のホームページでご覧いただけます。

WWW: <http://www.axiscom.co.jp/>

その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁が見つけられた場合は、info@axiscom.co.jp までご連絡ください。

AXIS 5600+ & AXIS 5400+ ユーザーズマニュアル

第 2 版

Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、2001-2003

2003 年 6 月

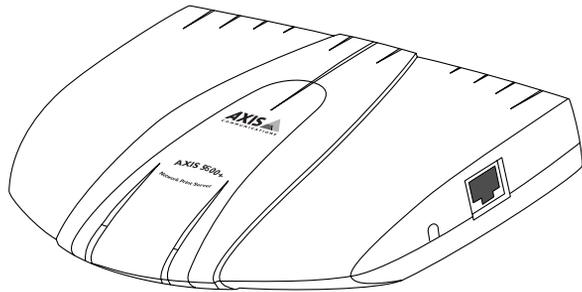
目次

第 1 章	はじめに	3
	利用方法	4
	機能と利点	6
第 2 章	製品の概要	7
	パッケージの内容	7
	AXIS Online CD	7
	プリントサーバの概要	8
第 3 章	基本インストール	11
	インストール手順	11
	ネットワークに接続する	12
	プリントサーバの設定 - インストールガイド	14
	IP アドレスの割り当て	15
第 4 章	セットアップ - Windows	23
	AXIS Print Monitor を利用する	23
	Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う	25
	Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う	27
	Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う	31
	Windows 2000、XP で TCP/IP 印刷を行う	34
第 5 章	セットアップ - NetWare	39
	NDPS を利用したセットアップ	40
	NDPS 環境にインストールする	40
	AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ	56
	IP を利用したキューベース印刷	58
	キューベース印刷の方法	60
第 6 章	セットアップ - OS/2	61
	AXIS Print Utility for OS/2 を利用する	61
	Axis プリントサーバを OS/2 環境に統合する	63
第 7 章	セットアップ - Macintosh	65
	セレクタを利用したインストール	65
	プリンタの選択	66

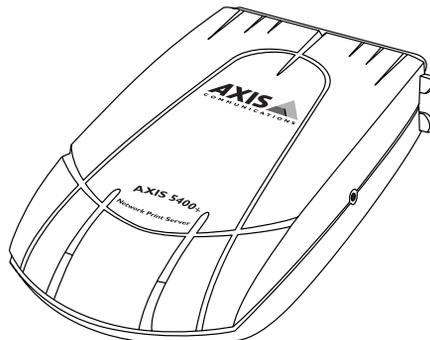
第 8 章	セットアップ - UNIX.....	71
	UNIX 環境でのインストール	71
	TCP/IP ネットワークにおける印刷方法	74
第 9 章	論理プリンタ.....	77
第 10 章	設定と管理.....	85
	Web ブラウザを利用する	86
	AXIS NetPilot を利用する	91
	FTP を利用する	98
	Telnet を利用する	101
	SNMP を利用する	104
	ノベル社のユーティリティを利用する	106
第 11 章	AXIS 5600+、AXIS 5400+ の新機能.....	109
	Auto-IP	109
	IPP (Internet Printing Protocol)	109
	ネットワークの速度	114
第 12 章	ソフトウェアの更新.....	115
	更新されたソフトウェアを入手する	115
	ファームウェアをアップグレードする	115
第 13 章	テストボタン.....	119
	パラメータリスト	119
	工場出荷時のデフォルト設定	120
第 14 章	パラメータリスト.....	121
第 15 章	技術仕様.....	131
付録 A	保証について.....	135
付録 B	用語集.....	137
索引.....		141

第 1 章 はじめに

AXIS ThinServer テクノロジを基に、AXIS 5600+、AXIS 5400+ (以下、Axis プリントサーバ) は、利用可能なプリンタ資源をネットワーク上のユーザが共有できるようにします。Axis プリントサーバは外付型のプリントサーバで、標準的なプリンタに接続することができます。

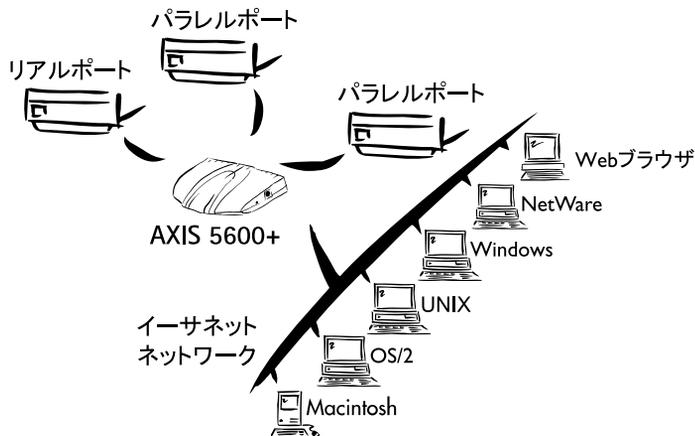


AXIS 5600+ プリントサーバ



AXIS 5400+ プリントサーバ

利用方法



対応する環境

- Windows
- NetWare
- UNIX
- OS/2
- Macintosh
- インターネット / イン트라ネットを経由した JavaScript に対応する Web ブラウザ

インストールと接続

Axis プリントサーバのインストール、およびネットワークへの接続は、AXIS Online CD に含まれる Axis クライアントソフトウェアを利用して行います。

- AXIS Print Monitor - Windows 環境でネットワークプリンタの設定および管理が行えます。
- AXIS NetPilot - Windows 環境で、NetWare 環境へのプリントサーバのインストール、設定および管理が行えます。
- AXIS Print Utility for OS/2 - OS/2 環境でネットワーク印刷を行うためのアプリケーションです。
- axinstall - UNIX 環境でネットワークプリンタの設定が行えます。

注意： Axis プリントサーバは、Axis クライアントソフトウェアを使用せずに Macintosh 環境にインストールできます。

設定と管理

Axis プリントサーバは Web サーバを内蔵しています。この内蔵 Web サーバにより、TCP/IP 上の HTTP を利用して Web サーバに含まれる内部 Web ページから直接 プリントサーバの設定、管理が行えます。Web ブラウザを利用して Axis プリントサーバにアクセスすることにより、対応するすべてのネットワーク環境に適した、プラットフォームに依存しない管理を実現します。

お使いのネットワークが TCP/IP に対応していない場合は、AXIS NetPilot を利用して Axis プリントサーバの設定・管理を行うことも可能です。AXIS NetPilot は、IPX/SPX、および NetBIOS/NetBEUI プロトコルに対応しています。

機能と利点

信頼性 Axis プリントサーバは、優れたパフォーマンスと信頼性、さらに低消費電力という特徴を持っています。電子回路には 32 ビット RISC プロセッサと、関連するネットワークコントローラで構成される AXIS ETRAX 100LX チップを採用しています。

柔軟性 Axis プリントサーバは、主要なコンピュータシステム、またほとんどのコンピュータ環境に対応しています。さらに、AXIS 5600+ の場合は、3 台のプリンタに同時に印刷することができます。IPP (Internet Printing Protocol) 機能は、インターネットを経由した印刷を可能にします。

スピード AXIS ETRAX 100LX チップは LAN 製品のために設計され、PC とプリンタを直接接続した場合よりもより高速なスループットを提供します。

簡単なインストール Axis ユーティリティソフトウェアを利用して、Axis プリントサーバをお使いのネットワークに数分でインストールすることができます。

セキュリティ ログイン、およびプリンタへのアクセス (FTP を利用する場合) の両方を制限するパスワードを設定できます。

監視 Axis プリントサーバの内部 Web ページを利用して、プリンタのステータスを監視することができます。

Windows 95、98、Me のための AXIS Print Monitor は、ピアツーピアプリントジョブのステータスを示すポップアップメッセージを表示するように設定することができます。

Axis プリントサーバは、リモート監視のために SNMP にも対応しています。

将来への対応 Axis プリントサーバは、ネットワークを経由したフラッシュメモリのアップグレードが可能です。新しい製品ソフトウェア (ファームウェア) がリリースされた時には、ファームウェアの素早い更新と、お使いの Axis プリントサーバの操作性の向上を実現します。

第 2 章 製品の概要

パッケージの内容

以下のリストを利用して、Axis プリントサーバのパッケージ内容を確認してください。不足しているものや、破損しているものがあつた場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

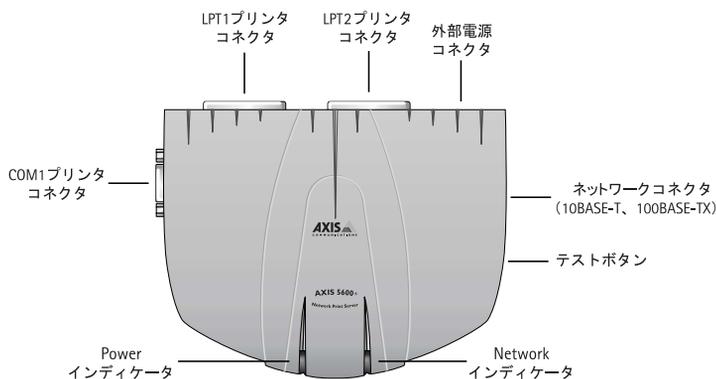
AXIS 5600+ (製品番号 : 0129-xxx-02)	AXIS 5400+ (製品番号 : 0130-xxx-01)
外部電源 : PS-F (部品番号 : 18480) または PS-H (部品番号 : 19110)	外部電源 : PS-B (部品番号 : 13936)
AXIS Online CD	
お客様登録カード	
オプションアクセサリ	
パラレルプリンタケーブル / 部品番号 : 13360	
延長用パラレルプリンタケーブル / 部品番号 : 13522	
シリアルプリンタケーブル / 部品番号 : 13281	

AXIS Online CD

AXIS Online CD には、ユーティリティソフトウェア、ユーザーズマニュアル (PDF 形式)、および PDF 形式のファイルを閲覧するための Adobe Acrobat Reader が含まれています。

プリントサーバの概要

AXIS 5600+



AXIS 5600+ の外観図

ネットワークコネクタ - AXIS 5600+は、10Mbps イーサネットおよび 100 Mbps ファーストイーサネットネットワーク用に設計されており、ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル（10BASE-T、100BASE-TX）を利用してネットワークに接続します。AXIS 5600+ は、ローカルネットワークセグメントの速度（10Mbps または 100Mbps）を自動的に検知する機能を備えています。

プリンタポート - AXIS 5600+ は、高速 IEEE1284 互換パラレルポートを 2 つ、シリアルポートを 1 つ備えています。どのポートにも標準的なプリンタを接続することができます。印刷データは、3 つのポートに同時に送ることが可能で、利用するプロトコルにかかわらず 3 台のプリンタを同時に使用することができます。

テストボタン - テストボタンは、以下の作業に利用します。

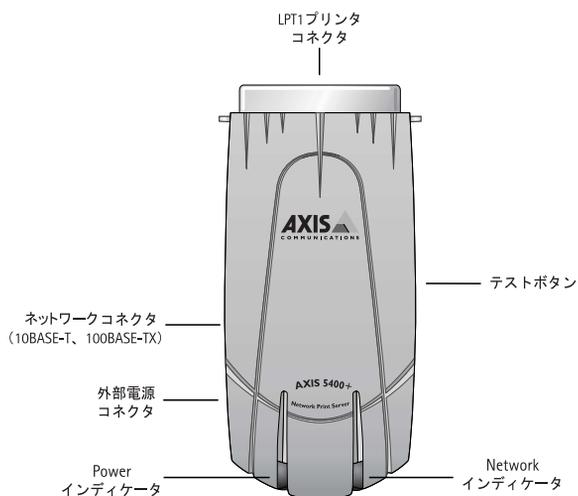
- プリンタとの接続を確認するために、テストページを印刷する。
- AXIS 5600+ の設定内容を示すパラメータリストを印刷する。
- AXIS 5600+ のパラメータを、工場出荷時のデフォルト設定にリセットする。

注意： □ PostScript ファイル、また ASCII テキストを印刷できないプリンタの場合、テストページおよびパラメータリストは印刷できません。

Network インディケータ - Network インディケータが点滅し、ネットワークのトラフィックを示します。トラフィックに関わらず、点灯しない場合、また点滅する場合は、Axis プリントサーバまたは外部電源アダプタに問題があります。

Power インディケータ - Power インディケータは、電源が供給されている時に点灯します。点灯しない場合、また点滅する場合は、Axis プリントサーバまたは外部電源アダプタに問題があります。

AXIS 5400+



AXIS 5400+ の外観図

ネットワークコネクタ - AXIS 5400+ は、10Mbps イーサネットおよび 100 Mbps ファーストイーサネットネットワーク用に設計されており、ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル（10BASE-T、100BASE-TX）を利用してネットワークに接続します。AXIS 5400+ は、ローカルネットワークセグメントの速度（10Mbps または 100Mbps）を自動的に検知する機能を備えています。

プリンタポート - AXIS 5400+ は、高速 IEEE1284 互換パラレルポートを 1 つ備えています。このポートに標準的なプリンタを接続することができます。

テストボタン - テストボタンは、以下の作業に利用します。

- プリンタとの接続を確認するために、テストページを印刷する。
- AXIS 5400+ の設定内容を示すパラメータリストを印刷する。
- AXIS 5400+ のパラメータを、工場出荷時のデフォルト設定にリセットする。

注意： □ PostScript ファイル、また ASCII テキストを印刷できないプリンタの場合、テストページおよびパラメータリストは印刷できません。

Network インディケータ - Network インディケータが点滅し、ネットワークのトラフィックを示します。トラフィックに関わらず、点灯しない場合、また点滅する場合は、Axis プリントサーバまたは外部電源アダプタに問題があります。

Power インディケータ - Power インディケータは、電源が供給されている時に点灯します。点灯しない場合、また点滅する場合は、AXIS 5400+ または外部電源アダプタに問題があります。

第 3 章 基本インストール

インストール手順

7 ページ「パッケージの内容」に示されている付属品がすべてそろっていることを確認できたら、Axis プリントサーバのインストールを開始してください。

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバプリントサーバをお使いのネットワークにインストールしてください。

- 12 ページ「ネットワークに接続する」を参考に、ケーブル類の接続を行います。
- 14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」を参考に、Axis プリントサーバの設定を行います。
- IPアドレスを手動で設定する必要がある場合は、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参考に、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てます。

ネットワークに接続する

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバを付属の外部電源、お使いのプリンタ、ネットワークに接続してください。

- 警告！**
- 付属の外部電源アダプタが、AXIS 5600+ の場合は PS-F または PS-H、AXIS 5400+ の場合は PS-B アダプタであることを確認してください。
1. 使用するプリンタの電源が切れていること、さらに Axis プリントサーバの外部電源アダプタがまだ接続されていないことを確認します。
 2. Axis プリントサーバの底面ラベルに記載されている、シリアル番号を控えてください。プリントサーバの IP アドレスを設定する際に、このシリアル番号が必要になります。
 3. AXIS 5600+ の場合は、適切なプリンタケーブルを使用して LPT1、LPT2、または COM1 ポートにプリンタを接続します。AXIS 5400+ の場合は、プリンタの平行ポートに直接接続します。
 4. ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル（10BASE-T、または 100BASE-TX）を使用して、Axis プリントサーバをネットワークに接続します。
 5. プリンタの電源を入れ、Axis プリントサーバの外部電源アダプタを接続します。Network インディケータが点滅し、Axis プリントサーバが正しくネットワークに接続されたことを示します。
 6. Axis プリントサーバのテストボタンを 1 回押して、テストページを印刷します。プリンタと Axis プリントサーバが正しく接続されていれば、Axis プリントサーバの内部テストページが印刷されます。ネットワーク上で DHCP サーバが動作している場合は、Axis プリントサーバをネットワークに接続した時に自動的に IP アドレスが割り当てられます。割り当てられた IP アドレスは、テストページに印刷されます。手動、および他の方法で Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てる必要がある場合は、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

お使いのネットワークに Axis プリントサーバをインストールする準備が整いました。14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」を参照し、インストールを行ってください。

- 注意：**
- プリンタが PostScript ファイル、または ASCII テキストファイルを印刷できない場合は、テストページは印刷できません。
 - テストページには、製品ソフトウェア（ファームウェア）のバージョン、IP アドレス、ネットワーク速度などの重要なパラメータが含まれます。

プリントサーバの設定 - インストールガイド

設定方法 Axis プリントサーバのネットワークへの接続が完了したら、Axis プリントサーバの基本的な設定を行うことができます。以下の表を参考に、お使いのプリンタ、ネットワーク環境に合った方法を選択してください。

環境	ネットワーク設定	参照先
Windows 95/98/Me	TCP/IP	23 ページ「第4章 セットアップ - Windows」
	NetBIOS/NetBEUI	
Windows NT	TCP/IP	31 ページ「Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う」
Windows 2000/XP	TCP/IP	34 ページ「Windows 2000、XP で TCP/IP 印刷を行う」
	IPP	109 ページ「IPP (Internet Printing Protocol)」
NetWare	IPX/SPX	39 ページ「第5章 セットアップ - NetWare」
OS/2	NetBIOS/NetBEUI	61 ページ「第6章 セットアップ - OS/2」
Macintosh	AppleTalk	65 ページ「第7章 セットアップ - Macintosh」
UNIX	TCP/IP	71 ページ「第8章 セットアップ - UNIX」

インストールと 管理ツール

Axis プリントサーバの管理および設定には、適切なインストールツールを利用してください。以下の表に、概要を示します。

環境	プロトコル	ツール
Windows 95/98/Me	TCP/IP、 NetBIOS/NetBEUI	AXIS Print Monitor
Windows NT	TCP/IP	Windows NT の機能を使用
Windows 2000/XP	TCP/IP、IPP	Windows 2000/XP の機能を使用
NetWare	IPX/SPX	AXIS NetPilot NetWare アドミニストレータ
OS/2	NetBIOS/NetBEUI	AXIS Print Utility for OS/2
Macintosh	AppleTalk	セレクタを使用
UNIX	TCP/IP	axinstall

各 OS で推奨するツール

IP アドレスの割り当て

TCP/IP ネットワーク上で Axis プリントサーバの内部 Web ページを利用して設定および管理を行うには、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てる必要があります。以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当ててください。

始める前に

- システム権限** Windows NT、2000、XP (Professional Edition) から IP アドレスの設定を行う場合は、Administrator 権限が必要になります。UNIX システムから IP アドレスの設定を行う場合は、root 権限が必要になります。
- 物理アドレス** IP アドレスの割り当てを行うには、Axis プリントサーバの物理アドレスが必要になります。物理アドレスは、Axis プリントサーバの底面ラベルに記載されているシリアル番号に基づいています。
- たとえば、00408C100086 というシリアル番号を持つ Axis プリントサーバの物理アドレスは、00:40:8C:10:00: 86 になります。
- IP アドレス** DHCP 以外の方法で IP アドレスの割り当てを行う場合は、ネットワーク管理者から未使用の IP アドレスを入手する必要があります。
- 重要：** □ Axis プリントサーバをインストールする際、以下の例に使用されている IP アドレスをそのまま使用しないでください。IP アドレスの割り当てを行う前に、必ずネットワーク管理者に相談してください。

IP アドレスの 設定方法

お使いのネットワーク環境に応じて、以下のいずれかの方法で Axis プリントサーバの IP アドレスの設定を行うことができます。

方法	ネットワーク環境	参照ページ
DHCP	Windows NT/2000/XP	17 ページ「DHCP を利用する」
ARP	Windows 95/98/Me/NT/2000/XP	19 ページ「Windows で ARP を利用する」
	UNIX	20 ページ「UNIX で ARP を利用する」
RARP *	UNIX	21 ページ「UNIX で RARP を利用する」
BOOTP *	UNIX	22 ページ「UNIX で BOOTP を利用する」
Auto-IP *	Windows 98/Me/2000/XP	18 ページ「DHCP と Auto-IP」

* Axis プリントサーバの IP アドレスは自動的に設定されます。

- 注意：**
- ARP および RARP のよる設定方法は、単一のネットワークセグメント上でのみ動作します。ルータを越えて利用することはできません。
 - ARP および PING の組み合わせによる IP アドレスの設定方法は、Axis プリントサーバの再起動直後の 10 分間だけ有効となります。
 - Macintosh 環境での IP アドレスの設定方法については、68 ページ「パラメータを設定する」を参照してください。

ホスト名の関連付け

動的な IP アドレスの設定が可能なネットワーク上で Axis プリントサーバのホスト名を登録する場合、WINS (Windows Internet Name Service) および DDNS (Dynamic Domain Naming System) を利用することができます。常に DHCP を利用して IP アドレスの設定を行う場合は、WINS または DDNS のどちらかを利用することをお勧めします。

Axis プリントサーバのホスト名は、PS_NAME パラメータで設定できます。詳しくは、121 ページ「第 14 章 パラメータリスト」を参照してください。

WINS の制限 WINS は最長 15 文字のホスト名に対応しています。ホスト名が 15 文字以上の場合、Axis プリントサーバは 15 文字を超える部分を切り捨てて WINS サーバにホスト名を登録します。WINS サーバに登録された Axis プリントサーバのホスト名は、Axis プリントサーバの内部 Web ページで確認することができます。

DDNS の規則 DDNS は最長 47 文字のホスト名に対応しています。使用できる文字は、「A-Z」、「a-z」、「0-9」、およびハイフン (-) です。これ以外の文字を使用した場合、DDNS サーバに登録するときには使用できない文字はすべてハイフン (-) に変換されます。DDNS サーバに登録された Axis プリントサーバのホスト名は、Axis プリントサーバの内部 Web ページで確認することができます。

もしホスト名が DDNS データベース内の他のエン트리と一致した場合、Axis プリントサーバはホスト名の登録を行う前にそのエントリを削除します。

- 注意：**
- WINSサーバとDDNSサーバに同じホスト名を登録する場合、ホスト名に使用できる文字数は 15 文字、使用できる文字は「A-Z」、「a-z」、「0-9」およびハイフン (-) になります。
 - ホスト名の名前解決については、お使いのシステムのマニュアルを参照するか、ネットワーク管理者に相談してください。

DHCP を利用する 以下の手順にしたがって、DHCP を利用して IP アドレスの割り当てを行います。

1. DHCP マネージャで、スコープの編集または作成を行います。スコープに含まれるパラメータは、以下のとおりです。
 - IP アドレスの範囲
 - サブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイの IP アドレス
 - WINS サーバの IP アドレス、または DDNS サーバの IP アドレス
 - リース期間

2. スコープをアクティブにします。Axis プリントサーバは、再起動すると自動的に DHCP パラメータを読み込みます。WINS または DDNS を利用している場合、DHCP スコープに WINS または DDNS サーバの IP アドレスを最低でも一つ含める必要があります。Axis プリントサーバは IP アドレスを受け取るとすぐに、WINS または DDNS サーバに Axis プリントサーバのホスト名と IP アドレスを登録します。詳しくは、16 ページ「ホスト名の関連付け」を参照してください。
3. Axis プリントサーバは、TFTP (Trivial File Transfer Protocol) サーバからカスタマイズされた config ファイル (Axis プリントサーバの設定ファイル) を自動的に読み込むことができます。DHCP スコープに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加してください。Axis プリントサーバは IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファイルを読み込みます。
4. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

- 注意：**
- IP アドレスを読み込むために、Axis プリントサーバを再起動する必要はありません。
 - Axis プリントサーバを工場出荷時の状態にリセットした後に、DHCP による IP アドレスの割り当てが行われなかった場合は、Auto-IP 機能によって IP アドレスの割り当てが行われます。

DHCP と Auto-IP Auto-IP は、DHCP サーバが利用できない場合に IP アドレスを設定する、もう一つの方法です。

ネットワーク上で DHCP サーバが動作している場合、Axis プリントサーバはネットワークに接続されるとすぐに DHCP サーバから IP アドレスを受け取ります。DHCP サーバから IP アドレスを受け取れなかった場合、Axis プリントサーバは Auto-IP によって IP アドレスを割り当てられます。Auto-IP はデフォルトで有効に設定されており、ユーザによる設定は特に必要ありません。

Windows で ARP を 利用する

以下の手順にしたがって、ARP と PING を利用して IP アドレスを設定してください。Windows 環境では、物理アドレスはハイフン (-) で区切ってください。

1. DOS 窓 (コマンドプロンプト、DOS プロンプト) を開きます。
2. 以下のコマンドを実行します。

```
arp -s IP アドレス 物理アドレス  
ping IP アドレス  
arp -d IP アドレス
```

例 :

```
arp -s 192.168.70.183 00-40-8c-10-00-86  
ping 192.168.70.183  
arp -d 192.168.70.183
```

ホストから Reply from 192.168.70.183 ... のような応答が返ります。これにより、アドレスが設定され、さらに通信が確立したことが分かります。

3. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

注意 : □ Windows 95 環境で ARP を使用する場合は、コマンドの最初の行を以下のように変更してください。Win95 ホスト IP アドレスは、お使いのコンピュータの IP アドレスです。

```
arp -s IP アドレス 物理アドレス Win95 ホスト IP アドレス
```

- 初めて ping コマンドを実行した場合、反応があるまでに通常よりも長い時間がかかることがあります。
- ARP と PING を利用した IP アドレスの設定方法は、Axis プリントサーバの起動直後の 10 分間だけ有効になります。
- arp -d コマンドを実行すると、ホストのキャッシュメモリから ARP テーブルの static エントリが削除されます。

UNIX で ARP を
利用する

以下の手順にしたがって、ARP と PING を利用して IP アドレスを設定してください。

1. シェルウィンドウで以下のコマンドを実行してください。

```
arp -s ホスト名 物理アドレス
ping ホスト名
arp -d ホスト名
```

例 :

```
arp -s npsname 00:40:8c:10:00:86
ping npsname
arp -d npsname
```

2. ホストは、npsname is alive のような応答を返します。これにより、アドレスが設定され、さらに通信が確立したことが分かります。
3. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

- 注意 :**
- ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名のエントリに IP アドレスを入力してください。
 - ARP コマンドの書式は、UNIX システムによって異なる場合があります。ある種の BSD 系システムは、ホスト名と物理アドレスの順番が逆である必要があります。また、IBM AIX システムは、追加の引数 ether を必要とします。

例 :

```
arp -s ether ホスト名 00:40:8c:10:00:86 temp
```

- 初めて ping コマンドを実行した場合、反応があるまでに通常よりも長い時間がかかることがあります。
- ARP と PING を利用した IP アドレスの設定方法は、Axis プリントサーバの起動直後の 10 分間だけ有効になります。

UNIX で RARP を 利用する

以下の手順にしたがって、RARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. お使いのシステムの物理アドレステーブル（通常、`/etc/ethers`）に、以下の行を追加します。

物理アドレス ホスト名

例：

00:40:8c:10:00:86 npsname

2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していない場合は、RARP デーモンを起動します。これは、一般的に `rarpd -a` コマンドを利用して実行します。
4. Axis プリントサーバを再起動し、IP アドレスを設定します。
5. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。

- 注意：**
- ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名のエントリに IP アドレスを入力してください。
 - IBM AIX をお使いの場合は、おそらく RARP デーモンが用意されていません。その場合は、代わりに ARP または BOOTP のいずれかの方法を利用してください。

UNIX で BOOTP を
利用する

以下の手順にしたがって、BOOTP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. お使いのシステムのブートテーブル（通常、/etc/bootptab）に、以下の行を追加します。

```
ホスト名 :ht= ハードウェアタイプ :vm= ベンダマジック :\  
:ha= ハードウェアアドレス :ip=IP アドレス :\  
:sm= サブネットマスク :gw= デフォルトゲートウェイ
```

例 :

```
npsname:ht=ether:vm=rfc1048:\  
:ha=00408c100086:ip=192.168.70.183:\  
:sm=255.255.255.0:gw=192.168.70.1
```

2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していない場合は、BOOTP デーモンを起動します。これは、一般的に bootpd コマンドを利用して実行します。
4. Axis プリントサーバを再起動し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。Axis プリントサーバは、TFTP (Trivial File Transfer Protocol) サーバからカスタマイズされた config ファイル (Axis プリントサーバの設定ファイル) を自動的に読み込むことができます。DHCP スコープに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加してください。Axis プリントサーバは IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファイルを読み込みます。
5. Axis プリントサーバの IP アドレスが設定されました。続いて、14 ページ「プリントサーバの設定 - インストールガイド」に進んでください。
 - htとvmのフィールドは、例に示されているとおりに入力してください。
 - ha フィールドは、物理アドレスまたはノードアドレスです。ip フィールドは、Axis プリントサーバの IP アドレスです。
 - gw と sm フィールドは、デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの値になります。
 - ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われない場合は、ホスト名のエントリに IP アドレスを入力してください。
 - IP アドレスを設定するには、Axis プリントサーバを再起動する必要があります。

第 4 章 セットアップ - Windows

Axis プリントサーバをネットワークに接続するには、12 ページ「ネットワークに接続する」の手順にしたがってください。この章では、Axis プリントサーバを Windows 環境にインストールする手順について説明します。以下の表を参考に、お使いの環境に適した方法でインストールを行ってください。

Windows 環境	プロトコル	参照先
Windows 95 Windows 98 Windows Me	TCP/IP	23 ページ「AXIS Print Monitor を利用する」 27 ページ「Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う」
	NetBIOS/NetBEUI	23 ページ「AXIS Print Monitor を利用する」 25 ページ「Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う」
Windows NT 4.0 Windows 2000 Windows XP	TCP/IP	31 ページ「Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う」 34 ページ「Windows 2000、XP で TCP/IP 印刷を行う」

複数のプロトコルが存在する環境で Axis プリントサーバを使用する場合は、以下の章も参照してください。

- 39 ページ「第 5 章 セットアップ - NetWare」
- 61 ページ「第 6 章 セットアップ - OS/2」
- 65 ページ「第 7 章 セットアップ - Macintosh」
- 71 ページ「第 8 章 セットアップ - UNIX」

AXIS Print Monitor を利用する

AXIS Print Monitor は、AXIS Online CD に含まれています。また、Axis のホームページ (<http://www.axiscom.co.jp/>) からダウンロードすることができます。

AXIS Print Monitor は、Windows 95、Windows 98、Windows Me 環境でネットワーク印刷を行うためのツールです。AXIS Print Monitor により、ローカルプリンタポートにインストールされているプリンタを利用するのと同じように、簡単に Axis プリントサーバを利用できるようになります。また、AXIS Print Monitor は、一度インストールされると、システムの起動時に自動的に立ち上るようになります。

AXIS Print Monitor の インストール

AXIS Print Monitor は、AXIS Online CD に含まれています。[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] フィールドに以下のように入力してください (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)。

```
D:\software\pmp_np\pmp3011j.exe
```

ウィザードの手順にしたがって、インストールを行ってください。インストールの手順について詳しくは、付属の「補足資料」を参照してください。

AXIS Print Monitor とは

AXIS Print Monitor は、Windows 95、98、Me 環境でピアツーピア印刷を行うために開発された Windows コンポーネント (DLL) です。プリントジョブを Axis プリントサーバに直接送ることができます。

ピアツーピア印刷

ピアツーピア印刷を行う場合、それぞれの PC に AXIS Print Monitor をインストールする必要があります。一度 AXIS Print Monitor をインストールすると、お使いの PC に直接接続されているプリンタにアクセスするかのように、ネットワーク上のすべてのプリンタにアクセスできます。ピアツーピア印刷には、以下のような利点があります。

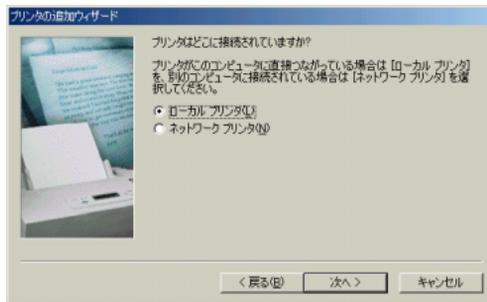
- エラー状態をポップアップメッセージで表示することにより、お使いのプリンタの状態を簡単に監視することができます。
- 他のサーバに頼る必要がありません。

注意： AXIS Print Monitor を利用して DOS 窓 (MS-DOS プロンプト) から印刷することはできません。

Windows 95、98、Me で NetBIOS/NetBEUI 印刷を行う

以下の手順にしたがって、AXIS NetBIOS/NetBEUI Port を利用するプリンタをインストールしてください。

1. Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [プリンタ] を選択します。[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加ウィザード] を開始します。
2. 最初の画面で [次へ] をクリックします。ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。Axis プリントサーバはローカルポートとして振る舞うため、[ローカルプリンタ] を選択します。[次へ] をクリックします。



3. 製造元とプリンタの一覧からプリンタに適したプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックして手順 6 へ進んでください。利用するプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、手順 4 へ進んでください。

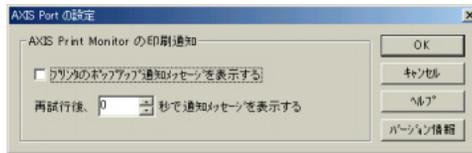
注意： □ 製造元からプリンタドライバが提供されている場合は、そのドライバを使用することをお勧めします。

4. [ディスク使用] をクリックします。ドライバの保存されたフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。適切なドライブを選択し、[OK] をクリックします。
5. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

6. [利用可能なポート] リストから、**AXIS Port** を選択してください。ポート名は、**名前.LP1**、**名前.LP2** のように表示されます。**名前**は、**AX** の後に **Axis** プリントサーバのシリアル番号の下 6 桁の英数字を続けた形式で表示され、「AX5556A3.LP1」のようになります。[ポートの設定] ボタンをクリックします。



7. プリンタのエラー状態を示すポップアップメッセージを表示する場合は、[AXIS Port の設定] ダイアログボックスに表示されるチェックボックスをオンにします。また、再試行後にどのくらいの頻度でエラーメッセージを表示するか、定義してください。[OK] をクリックします。



8. 適切なプリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。
9. テストページを行うかどうか選択し、[完了] をクリックします。

AXIS NetBIOS/NetBEUI Port を利用するプリンタがインストールされました。

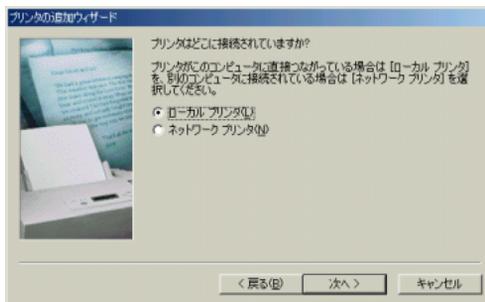
Windows 95、98、Me で TCP/IP 印刷を行う

TCP/IP 印刷を行うには、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てておく必要があります。IP アドレスの割り当てについては、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

LPR Port を利用する プリンタの インストール

以下の手順にしたがって、Windows 95、98、Me 環境に AXIS LPR Port を利用するプリンタをインストールしてください。

1. Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [プリンタ] を選択します。[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加ウィザード] を開始します。
2. 最初の画面で [次へ] をクリックします。ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。Axis プリントサーバはローカルポートとして振る舞うため、[ローカルプリンタ] を選択します。[次へ] をクリックします。



3. 製造元とプリンタの一覧からプリンタに適したプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックして手順 6 へ進んでください。利用するプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、手順 4 へ進んでください。

- 注意：**
- 製造元からプリンタドライバが提供されている場合は、そのドライバを使用することをお勧めします。
4. [ディスク使用] をクリックします。ドライバの保存されたフロッピーディスク、または CD-ROM をセットします。適切なドライブを選択し、[OK] をクリックします。
 5. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

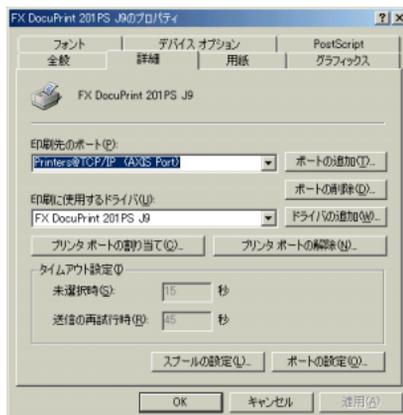
6. [利用可能なポート] リストから、**AXIS Port** を選択してください。ポート名は「LPT1@192.168.70.183」のように、**ポート名@IP アドレス**、または**ポート名@ホスト名**の形式で表示されます。新しい **LPR Port** をインストールする場合は、**Printers@TCP/IP** ポートを選択し、手順 10. 以降の設定も行ってください。
7. [ポートの設定] ボタンをクリックします。[**AXIS LPR Port** の設定] ダイアログボックスを開きます。プリンタのエラー状態をポップアップメッセージ表示するかどうかを選択します。また、再試行後、どのくらいの頻度でエラーメッセージを表示するかどうか定義します。設定後、[OK] をクリックします。

注意： □ **Printers@TCP/IP** ポートは、印刷のために利用することはできません。

8. [次へ] をクリックします。適切なプリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。
9. テストページを行うかどうか選択し、[完了] をクリックします。

手順 6. で **Printers@TCP/IP** を選択し、新しい **LPR Port** にプリンタをインストールする場合は、以下の手順にしたがってください。

10. 定義したプリンタは、[プリンタ] フォルダに表示されます。プリンタオブジェクトをマウスの右ボタンでクリックし、ショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。[プリンタのプロパティ] ウィンドウから [詳細] タブを選択します。



11. [ポートの追加] をクリックし、利用できるポートを表示します。ポートの種類から [その他] を選択し、リストから [AXIS Port] を選択します。[OK] をクリックします。



12. ネットワークプロトコルから [LPR (TCP/IP)] を選択し、[OK] をクリックします。



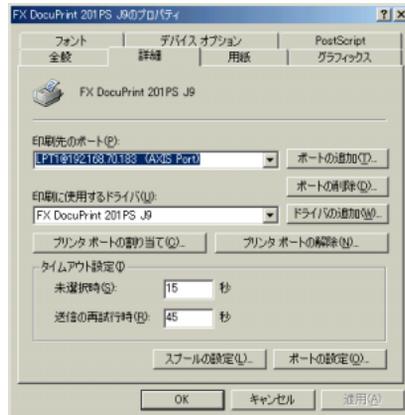
13. Axis プリントサーバの IP アドレス (またはホスト名)、および適切なプリンタ名を入力します。[OK] をクリックします。



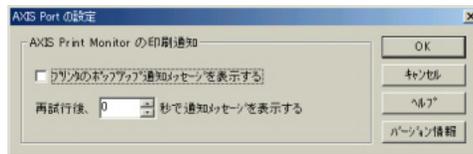
プリントサーバがデフォルト設定のままの場合は、プリンタ名に次の値が入ります。

- LPT1 にプリンタを接続している場合 : LPT1 または pr1
- LPT2 にプリンタを接続している場合 : LPT2 または pr2
- COM1 にプリンタを接続している場合 : COM1 または pr3

- 新しい LPR Port が、利用できるポートのリストに自動的に追加されます。[OK] をクリックします。



- 手順 7. の説明にしたがって、ポートの設定を行います。[OK] をクリックします。



- [OK] をクリックして [プリンタのプロパティ] ウィンドウを閉じます。

AXIS LPR Port を利用するプリンタがインストールされました。

Windows NT 4.0 で TCP/IP 印刷を行う

Windows NT 4.0 付属 の LPD モニタを利用 する

この項目では、Windows NT に付属の LPD モニタを利用して TCP/IP プロトコル上で LPR/LPD 印刷を行うための、設定方法を説明します。

基本設定

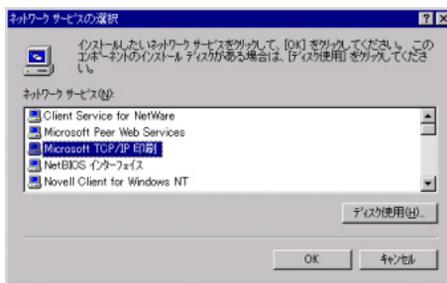
LPD 印刷のためのプリンタのインストールを行う前に TCP/IP の基本的な設定を行ってください。

LPR/LPD 印刷の準備

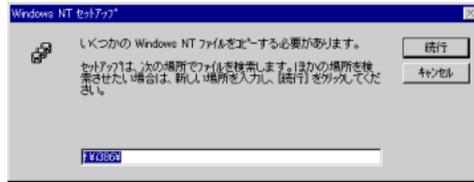
コントロールパネルを開き、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。[サービス] タブの一覧に、[Microsoft TCP/IP 印刷] が表示されている場合は、LPR/LPD 印刷機能がインストールされています。[ネットワーク] ダイアログボックスを閉じ、32 ページ「プリンタをインストールする」に進んでください。

以下の手順にしたがって、LPR/LPD 印刷を行うためのサービスをインストールしてください。

1. [コントロールパネル] を開き、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
2. [サービス] タブを選択します。
3. [追加] ボタンをクリックします。[ネットワークサービスの選択] 画面で [Microsoft TCP/IP 印刷] を選択し、[OK] をクリックします。



4. [Windows NT セットアップ] ダイアログが表示されます。適切な場所を指定して [続行] をクリックします。



5. [閉じる] をクリックして [ネットワーク] ウィンドウを閉じます。
6. 再起動を求める画面が表示されたら、[はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。

プリンタをインストールする

以下の手順にしたがって、LPR/LPD 印刷のためのプリンタをインストールします。

1. [コントロールパネル] を開き、[プリンタ] フォルダをダブルクリックします。
2. [プリンタの追加] をクリックします。次の画面で [このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。



3. [ポートの追加] をクリックします。利用可能なプリンタポートの一覧から [LPR Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。



4. [LPR 互換プリンタの追加] ダイアログボックスで、lpd を提供するプリントサーバとして、Axis プリントサーバのホスト名、または IP アドレスを入力します。また、サーバのプリンタ名、またはプリンタキュー名として LPT1 などを入力し、[OK] をクリックします。[閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。[次へ] をクリックします。



プリントサーバがデフォルト設定のままの場合は、プリンタ名またはプリントキュー名に次の値が入ります。

- LPT1 にプリンタを接続している場合：LPT1 または pr1
 - LPT2 にプリンタを接続している場合：LPT2 または pr2
 - COM1 にプリンタを接続している場合：COM1 または pr3
5. 利用するプリンタに合った適切なプリンタドライバを選択します。[次へ] をクリックします。
 6. プリンタ名を入力し、[次へ] をクリックします。
 7. プリンタを共有するかどうか指定し、[次へ] をクリックします。
 8. テストページを印刷するかどうか指定し、[次へ] をクリックします。
 9. [完了] をクリックします。

Windows 2000、XP で TCP/IP 印刷を行う

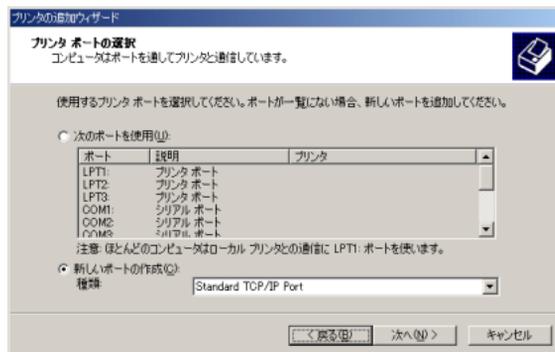
この項目では、Windows 2000 および Windows XP に付属の標準 TCP/IP 印刷サービスを利用して TCP/IP プロトコル上で印刷を行うための設定方法を説明します。TCP/IP 印刷サービスは、Windows 2000/XP のインストール時に標準でインストールされます。

1. Administrator の権限で Windows にログオンします。
2. Windows 2000 : [スタート] メニューから [設定] - [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加アイコン] をダブルクリックします。[次へ] をクリックします。
Windows XP : [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プリントとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択し、[プリンタのタスク] の中の [プリンタのインストール] をクリックします。[次へ] をクリックします。
3. ローカルまたはネットワークプリンタの選択画面が表示されます。
Windows 2000 : [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
Windows XP : [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

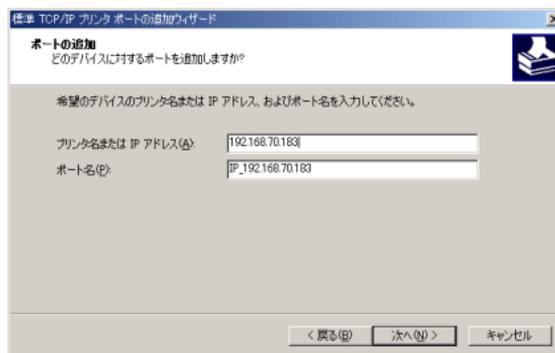


注意 : □ [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックが外れていることを確認してください。

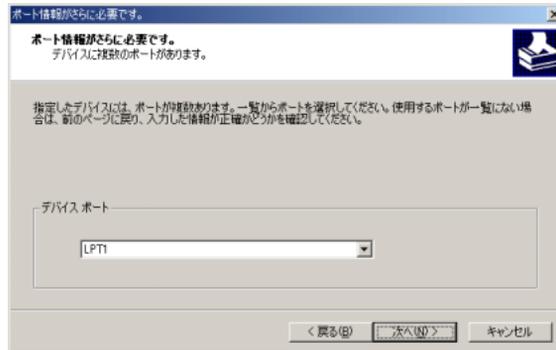
4. プリンタポートの選択画面で、[新しいポートの作成] を選択します。[種類] フィールドから、[Standard TCP/IP Port] を選択し、[次へ] をクリックします。



5. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。
6. ポートの追加画面が表示されます。[プリンタ名または IP アドレス] フィールドに、Axis プリントサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。[ポート名] フィールドは Axis プリントサーバのポート名ではなく、これから作成するポート自身の名称です。任意に入力することもできますが、自動で設定されますので、そのまま [次へ] をクリックしてください。

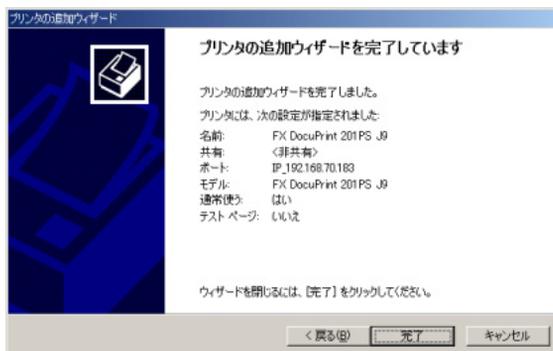


7. ポート情報に関する画面が表示されます。プリンタが接続されているポートを選択し、[次へ] をクリックします。

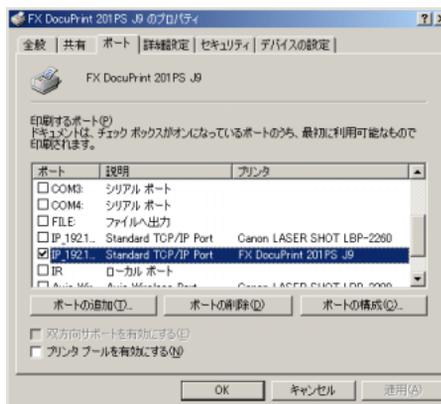


- 注意：**
- AXIS 5400+ の場合は、LPT1 を選択してください。AXIS 5600+ の場合は、プリンタが接続されているポートを選択してください。
8. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの終了画面が表示されます。[完了] をクリックします。
 9. プリンタの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。利用するプリンタに合った、適切な製造元とモデルを選択してください。[次へ] をクリックします。
 10. プリンタ名を入力する画面が表示されます。利用するプリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。
 11. プリンタの共有を指定する画面が表示されます。共有する場合は、ネットワーク上で表示するプリンタの共有名を指定してください。[次へ] をクリックします。
 12. テストページの印刷画面が表示されます。[いいえ] を選択して [次へ] をクリックします。

13. プリンタの追加ウィザードの完了画面が表示されます。
[完了] をクリックします。



14. Windows 2000 : [スタート] メニューから、[設定] - [プリンタ] を選択します。[プリンタ] フォルダに、作成したプリンタのアイコンが表示されます。
Windows XP : [スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。作成したプリンタのアイコンが表示されません。
15. 作成したプリンタアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。プリンタのプロパティ画面で、[ポート] タブをクリックします。



16. 作成したポートが選択されているのを確認し、[ポートの構成] ボタンをクリックします。

17. [標準 TCP/IP ポートモニタの構成] 画面が表示されます。[プロトコル] オプションで [LPR] が選択され、[LPR 設定] の [キュー名] フィールドに適切なポート名が表示されていることを確認してください。正しくない場合は設定を変更してください。[OK] をクリックします。



- 注意：**
- ❑ 手順 9、標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了画面で、アダプタの種類として「Axis Print Server」以外が表示された場合は、設定内容が正しくありませんので、必ず設定を確認してください。
 - ❑ プリントサーバがデフォルト設定のままの場合は、キュー名に次の値が入ります。
 - LPT1 にプリンタを接続している場合：LPT1 または pr1
 - LPT2 にプリンタを接続している場合：LPT2 または pr2
 - COM1 にプリンタを接続している場合：COM1 または pr3
 - ❑ NetWare の NDPS 環境にインストールされているプリンタを追加した場合、[プロトコル] オプションとして Raw が選択されていることがあります。このような場合は、LPR を選択して [キュー名] フィールドに適切なポート名を設定してください。
18. プリンタのプロパティ画面で、[全般] タブをクリックします。[テストページの印刷] ボタンをクリックし、印刷ができることを確認します。

第 5 章 セットアップ - NetWare

この章では、NetWare 環境への Axis プリントサーバのインストール方法について説明します。

インストール方法	プロトコル	参照
NDPS	TCP/IP IPX/SPX	40 ページ 「NDPS を利用したセットアップ」
キューベース印刷	IPX/SPX 基本設定	56 ページ 「AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ」
	Pure IP	58 ページ 「IP を利用したキューベース印刷」

Axis プリントサーバをマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

- 23 ページ 「第 4 章 セットアップ - Windows」
- 61 ページ 「第 6 章 セットアップ - OS/2」
- 65 ページ 「第 7 章 セットアップ - Macintosh」
- 71 ページ 「第 8 章 セットアップ - UNIX」

NDPS を利用したセットアップ

Axis プリントサーバは、NDPS (Novell Distributed Print Services) に対応しています。Pure IP (TCP/IP)、または IPX/SPX 上で NDPS を動作させることができます。

Axis プリントサーバのインストールを行う前に、ご利用の NetWare ファイルサーバ上に NDPS がインストールされ、ブローカがロードされていることを確認してください。

Axis プリントサーバは、IP または IPX トランスポートプロトコルを利用して印刷を実行するために、Axis ユーティリティソフトウェアの AXIS Gateway Configuration Utility を使用します。AXIS Gateway Configuration Utility は、NDPS 5.1 以上にプリンタゲートウェイとして含まれており、NDPS のインストール時に自動的にインストールされます。

- 注意：**
- AXIS Gateway Configuration Utility を利用するは、NetWare 5.1 以上が必要です。
 - Pure IP を利用するには、NetWare 5.1 以上が必要です。

NDPS 環境にインストールする

NDPS 環境に Axis プリントサーバをインストールする前に、Axis プリントサーバに適切な IP アドレスを割り当ててください。接続されているプリンタを、パブリックアクセスプリンタまたはコントロールアクセスプリンタとしてインストールすることができます。利用可能な NDPS マネージャオブジェクトがサーバ上にない場合は、まず NetWare アドミニストレータでオブジェクトを作成してください。

- 注意：**
- Axis プリントサーバと NDPS ゲートウェイ間の通信を有効にするために、Axis プリントサーバの HP JetAdmin サポートを Yes に設定してください。このパラメータは、Axis プリントサーバの内部 Web ページ ([管理者]-[一般設定]-[一般] タブ) から設定することができます。
 - Axis プリントサーバは、使用する印刷プロトコルとして LPR を推奨しています。ワークステーション (Windows 2000/XP 環境) から NDPS プリンタ以外のプリンタをインストールする場合は、34 ページ「Windows 2000、XP で TCP/IP 印刷を行う」を参照してください。

パブリックアクセス プリンタ

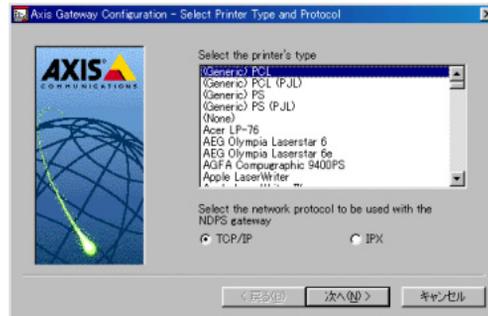
以下の手順にしたがって、NetWare アドミニストレータ上の NDPS マネージャオブジェクトを利用してパブリックアクセスプリンタを作成してください。

1. Admin ユーザでネットワークにログインします。
2. NetWare アドミニストレータを起動します。
(SYS:PUBLIC\WIN32\nwadmin32.exe)
3. NetWare アドミニストレータのブラウザウィンドウで、プリンタエージェントを管理する NDPS マネージャオブジェクトをダブルクリックします。
4. NDPS マネージャの [識別] ページから、[プリンタエージェントリスト] ボタンをクリックします。[プリンタエージェントリスト] ページが表示されます。
5. [新規] をクリックします。[プリンタエージェントの作成] ダイアログボックスが表示されます。
6. 作成するプリンタエージェントの名前を、[プリンタエージェント (PA) 名] フィールドに入力します。

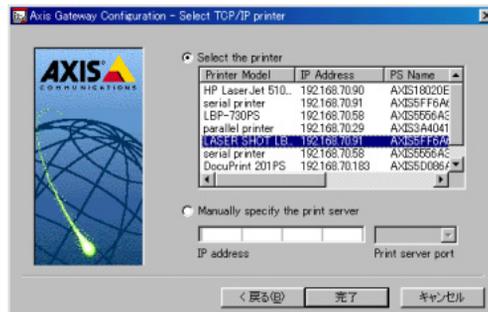


7. [ゲートウェイタイプ] から **Axis Gateway Configuration** を選択し、[OK] をクリックします。

8. [Select the printer's type] の一覧から、使用するプリンタを選択します。また、NDPS ゲートウェイで使用するプロトコルを、TCP/IP (デフォルト) または IPX から選択し、[次へ>] をクリックします。



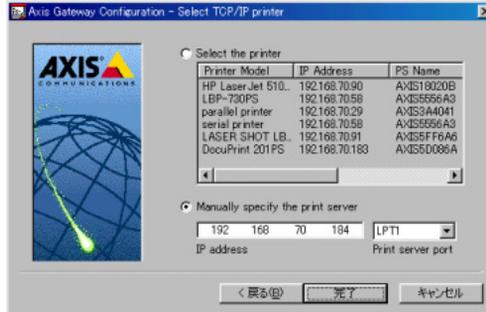
- 注意：**
- 一覧に使用するプリンタが表示されない場合は、「Generic」のいずれかを選択してください。
9. プリンタの検索を開始するメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。
10. プリントサーバに接続されたプリンタが表示されます。手順 8. で選択したプロトコルに応じて、以下のような情報が表示されます。
- TCP/IP プロトコルの場合：Printer Name (プリンタ名)、IP Address (IP アドレス)、PS Name (プリントサーバ名)、Manufacture (製造元)、Port (ポート名)



一覧には、プリンタが接続されているポートだけが表示されます。利用するプリンタが一覧に表示されない場合は、[Manually specify the print server] のチェックをオンにして、次の設定を行ってください。

- [IP address] フィールドにプリントサーバに割り当てた IP アドレスを入力してください。

- [Print Server Port] リストボックスからプリンタが接続されているポートを選択してください。



- IPX プロトコルの場合：Print Server（プリントサーバ名）、IPX Address（IPX アドレス）

プリントサーバ名の最後に付加される文字列は、_P1 は LPT1、_P2 は LPT2、_P3 は COM1 を表します。

プリントサーバにプリンタが接続されている / いないにかかわらず、利用可能なすべてのポートが表示されます。



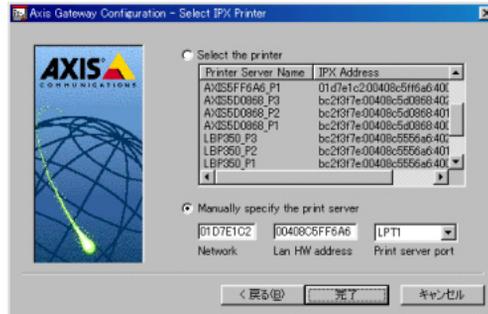
IPX アドレスは、*IPX 外部ネットワーク番号*：プリントサーバのシリアル番号：ソケット番号のように表示されます。ソケット番号は、400c が LPT1、401c が LPT2、402c が COM1 を表します。

例：01d7e1c2:00408c5ff6a6:400c

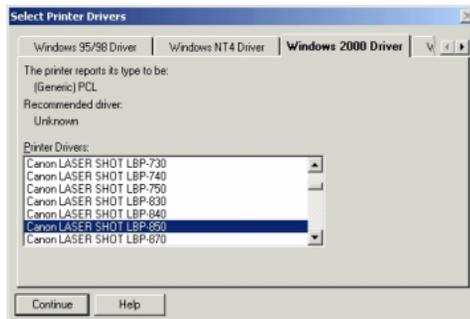
利用するプリンタが一覧に表示されない場合は、[Manually specify the print server] のチェックをオンにして、次の設定を行ってください。

- [Network] フィールドに *IPX 外部ネットワーク番号* を入力してください。

- [Lan HW address] フィールドにプリントサーバのシリアル番号を入力してください。
- [Print server port] リストボックスからプリンタが接続されているポートを選択してください。



11. [完了] をクリックします。
12. オペレーティングシステム毎に、適切なプリンタドライバを選択します。ここで選択したプリンタドライバは、ユーザがプリンタのインストールを実行した時に、自動的にワークステーションにダウンロードされます。



13. [続行] をクリックし、次のページで [OK] をクリックします。

14. 新しく作成したプリンタエージェントが、プリンタエージェントリストウィンドウに表示されます。



ステータスが「アイドル」になっていることを確認してください。

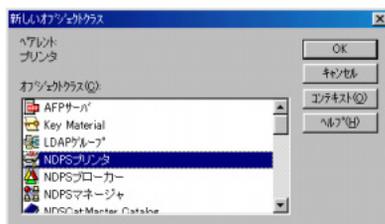
15. [キャンセル] をクリックして、NDPS マネージャを閉じます。

ワークステーションにプリンタをインストールする方法については、50 ページ「ワークステーションに NDPS プリンタをインストールする」を参照してください。

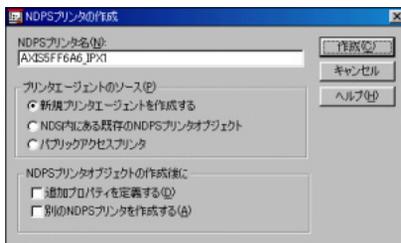
コントロール アクセスプリンタ

以下の手順にしたがって、NetWare アドミニストレータを利用してコントロールアクセスプリンタを作成してください。

1. Admin ユーザでネットワークにログインします。
2. NetWare アドミニストレータを起動します。
(SYS:PUBLIC\WIN32\nwadmin32.exe)
3. NDPS プリンタオブジェクトを格納するコンテナオブジェクトを選択します。
4. [オブジェクト] メニューから [作成] を選択し、[NDPS プリンタ] を選択します。[OK] をクリックします。



5. [NDPS プリンタの作成] ダイアログボックスが表示されます。



6. [NDPS プリンタ名] フィールドに、名前を入力します (例: AXIS5FF6A6_IPX1)。

また、[プリンタエージェントのソース] からソースを選択します。選択可能なオプションは、以下のとおりです。

- **新規プリンタエージェントを作成する**

Novell ゲートウェイまたはサードパーティ製のゲートウェイを選択できるようになります。

- **NDS 内にある既存の NDPS プリンタオブジェクト**

既にコントロールアクセスプリンタ (NDPS プリンタオブジェクト) として設定されているプリンタを使用することができます。

- **パブリックアクセスプリンタ**

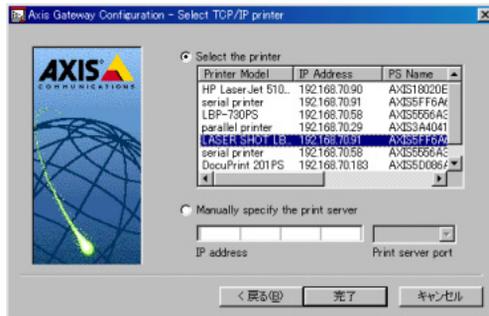
パブリックアクセスプリンタとして作成した既存のプリンタエージェントを使用することができます。

7. [新規プリンタエージェントを作成する] をクリックし、[作成] をクリックして [プリンタエージェントの作成] ダイアログを表示します。

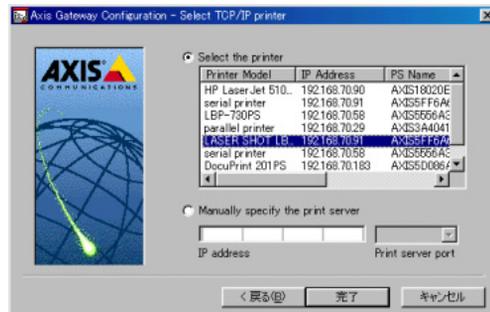
8. [プリンタエージェント (PA) 名] を確認します (デフォルトでは、現在作成している新しいプリンタオブジェクトと同じ名前になります)。また、プリンタエージェントを割り当てる NDPS マネージャを [NDPS マネージャ名] から選択します。



9. [ゲートウェイタイプ] から **Axis Gateway Configuration** を選択します。[OK] をクリックします。
10. [Select the printer's type] の一覧から、使用するプリンタを選択します。また、プロトコルを **TCP/IP** (デフォルト) または **IPX** から選択し、[次へ>] をクリックします。

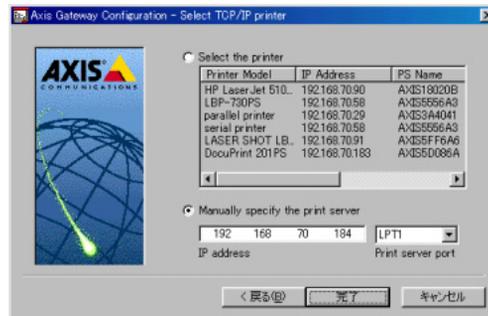


- 注意：**
- 一覧に使用するプリンタが表示されない場合は、「Generic」のいずれかを選択してください。
11. プリンタの検索を開始するメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。
 12. プリントサーバに接続されたプリンタが表示されます。手順 10. で選択したプロトコルに応じて、以下のような情報が表示されます。
 - TCP/IP プロトコルの場合：Printer Name (プリンタ名)、IP Address (IP アドレス)、PS Name (プリントサーバ名)、Manufacture (製造元)、Port (ポート名)



一覧には、プリンタが接続されているポートだけが表示されます。利用するプリンタが一覧に表示されない場合は、[Manually specify the print server] のチェックをオンにして、次の設定を行ってください。

- [IP address] フィールドにプリントサーバに割り当てた IP アドレスを入力してください。
- [Print Server Port] リストボックスからプリンタが接続されているポートを選択してください。



- IPX プロトコルの場合：Print Server（プリントサーバ名）、IPX Address（IPX アドレス）

プリントサーバ名の最後に付加される文字列は、_P1 は LPT1、_P2 は LPT2、_P3 は COM1 を表します。

プリントサーバにプリンタが接続されている / いないにかかわらず、利用可能なすべてのポートが表示されます。

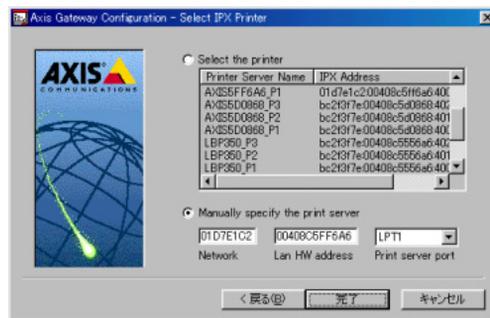


IPX アドレスは、**IPX 外部ネットワーク番号**：プリントサーバの**シリアル番号**：**ソケット番号**のように表示されます。ソケット番号は、400c が LPT1、401c が LPT2、402c が COM1 を表します。

例：01d7e1c2:00408c5ff6a6:400c

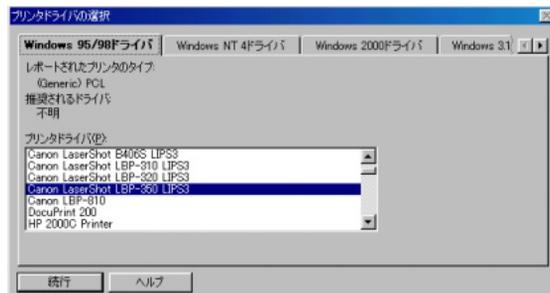
利用するプリンタが一覧に表示されない場合は、**[Manually specify the print server]** のチェックをオンにして、次の設定を行ってください。

- **[Network]** フィールドに **IPX 外部ネットワーク番号** を入力してください。
- **[Lan HW address]** フィールドに **プリントサーバのシリアル番号** を入力してください。
- **[Print server port]** リストボックスからプリンタが接続されている **ポート** を選択してください。

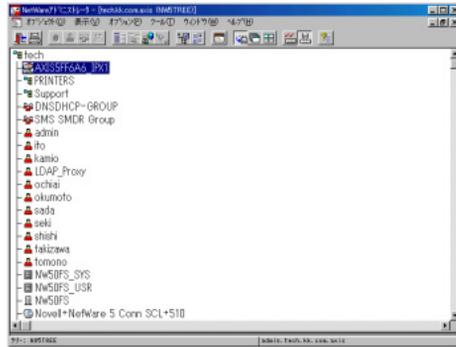


13. **[完了]** をクリックします。

14. ユーザが利用しているオペレーティングシステム毎に、適切なプリンタドライバを選択します。ここで選択したプリンタドライバは、ユーザがプリンタのインストールを実行した時に、自動的にワークステーションにダウンロードされます。



15. [続行] をクリックし、次のページで [OK] をクリックします。作成したコントロールアクセスプリンタがディレクトリツリーの NDS オブジェクトとして表示され、ネットワークセキュリティオプションのすべてが利用できるようになります。



ワークステーションにプリンタをインストールする方法については、50 ページ「ワークステーションに NDPS プリンタをインストールする」を参照してください。

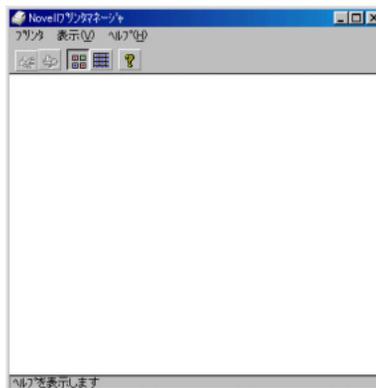
ワークステーション に NDPS プリンタを インストールする

ワークステーションにプリンタをインストールするには、Novell プリンタマネージャ (NetWare 5.1 のみ)、または Windows のプリンタの追加ウィザードを利用します。

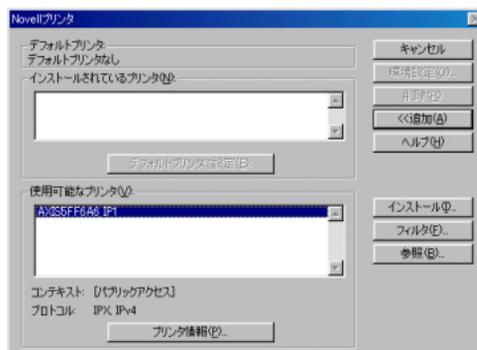
Novell プリンタ マネージャを 利用する

1. Admin ユーザとしてネットワークにログインします。
2. Novell プリンタマネージャを起動します。
(SYS:PUBLIC\WIN32\Nwpmw32.exe)

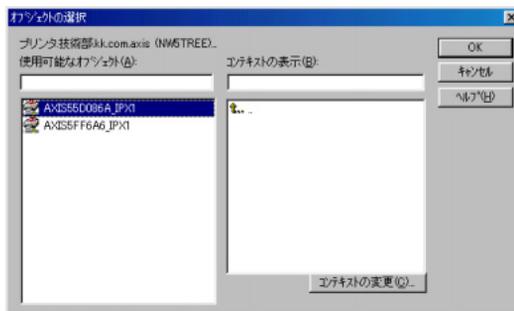
3. [Novell プリントマネージャ] ダイアログボックスに、ワークステーションに既にプリンタがインストールされている場合はパブリックアクセスプリンタおよびコントロールアクセスプリンタが表示されます。



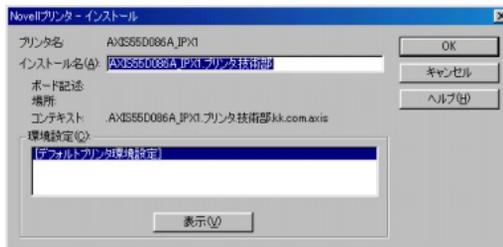
4. [プリンタ] メニューから [新規] を選択します。
5. [追加] をクリックします。使用可能なプリンタが表示されます。



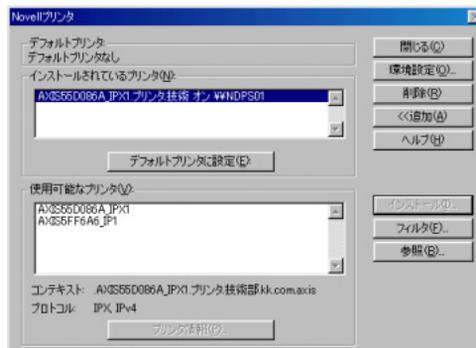
- リストには、ネットワーク上で使用可能なパブリックアクセスプリンタと、コンテキスト内のコントロールアクセスプリンタが表示されます。他のコンテキストに含まれるコントロールアクセスプリンタを参照するには、[参照] をクリックして [使用可能なオブジェクト] から使用するプリンタオブジェクトを選択し、[OK] をクリックします。



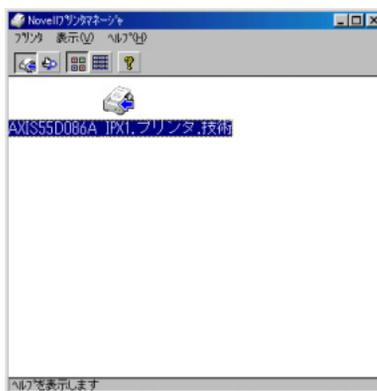
- コンピュータにインストールするプリンタを選択し、[インストール] をクリックします。[Novell プリンタ - インストール] ダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。



8. プリンタのデフォルトのドライバが自動的にダウンロードされます。プリンタドライバが見つからない場合は、リストからプリンタドライバを選択するか、[参照]をクリックしてプリンタに付属の CD から適切なドライバをインストールしてください。
[Novell プリンタ] ダイアログボックスに、新しいプリンタが表示されます。



9. [閉じる]をクリックします。[Novell プリンタマネージャ] ウィンドウに、新しくインストールした NDPS プリンタが表示され、印刷が実行できるようになります。

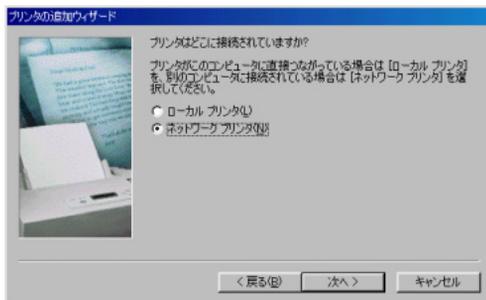


10. ワークステーションから、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択し、[プリンタ] フォルダにインストールしたプリンタが表示されていることを確認します。



プリンタの追加 ウィザードを 利用する

1. [プリンタ] フォルダを開きます。
2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。
3. ネットワークプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。



4. [プリンタの検索] ウィンドウで [参照] をクリックしてネットワーク上のプリンタを参照します。

- 共有プリンタの一覧から NDPS プリンタを選択します。パブリックアクセスプリンタまたはコントロールアクセスプリンタフォルダを展開し、インストールするプリンタを選択して [次へ] をクリックします。



- ウィザードを終了すると、プリンタがインストールされます。

- 注意：**
- パブリックアクセスプリンタの場合は、ネットワーク上のユーザがすぐに利用できるようになります。
 - Axis Gateway Configurationユーティリティは、NetWare環境でNDPSプリンタのインストール、および設定を行うためのツールです。
 - TCP/IP を利用した印刷を行う場合は、ファームウェアバージョン 6.34以降を搭載した Axis プリントサーバが必要です。

AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ

AXIS Online CD に含まれている、AXIS NetPilot をインストールしてください。[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] フィールドに以下のように入力してください (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)。

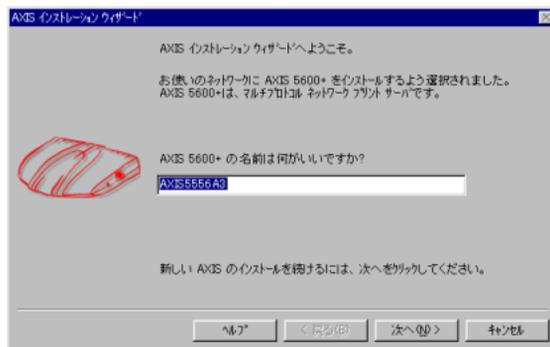
D:\software\pmp_np\pmp3011j.exe

ウィザードの順にしたがって、インストールを行ってください。NetPilot をインストールする場合は、インストール方法で「カスタム」を選択してください。インストールの手順について詳しくは、付属の「補足資料」を参照してください。AXIS NetPilot は、Windows 95、98、NT、Me に対応しています。

Axis プリントサーバ をインストールする

以下の手順にしたがって、AXIS NetPilot を利用して Axis プリントサーバをインストールしてください。

1. [スタート] メニューから、[プログラム] - [AXIS ユーティリティ] - [NetPilot] - [AXIS NetPilot] を選択します (インストールの際に指定したディレクトリによって、メニューの名称が異なる場合があります)。
2. [未設定 AXIS プリントサーバ] フォルダをクリックします。右側に表示されるプリントサーバの一覧からインストールするプリントサーバをクリックして選択し、[インストール] ボタンをクリックします。ご利用のネットワークの規模が大きい場合、プリントサーバの検索に時間がかかる場合があります。
3. [インストレーションウィザードを使ってインストールする] オプションを選択し、[OK] をクリックします。以下の画面が表示されます。



AXIS NetPilot インストレーションウィザードのメイン画面

インストレーションウィザードの手順にしたがって、以下のオプションを設定してください。

注意： □ お使いの環境によって、利用できるオプションが異なります。

プリントサーバ名 デフォルトのプリントサーバ名は、「AXIS」の後にシリアル番号の下 6 桁を続けた英数字になります。プリントサーバ名を変更する場合は、新しい名前を指定してください。

環境 Axis プリントサーバを設定するネットワーク環境（NetWare、TCP/IP、Windows、OS/2、AppleTalk）を選択します。ご利用のネットワークが複数のプラットフォームで構成される場合は、任意の組み合わせによる環境を有効にすることができます。

NetWare NDS NDSツリー中、あるいは、特定のバイナリサーバ上にNetWareプリントキューを置きます。

IP アドレス Axis プリントサーバが IP アドレスを取得する方法を選択します。DHCP、ARP、RARP、BOOTP に対応しています。また、手動で IP アドレスを設定することもできます。

プリントキュー Axis プリントサーバは、プリントサーバ名にプリンタポートの名前を続けたものをデフォルトのプリントキュー、またはプリントサーバポート名に使用します。デフォルトのプリントキュー名を変更する場合は、新しい名前を指定してください。

環境	デフォルト名
NetWare	AXIS5556A3_LPT1_Q AXIS5556A3_LPT2_Q AXIS5556A3_COM1_Q
Windows、OS/2	AX5556A3.LP1 AX5556A3.LP2 AX5556A3.CM1
AppleTalk	AXIS5556A3_LPT1 AXIS5556A3_LPT2 AXIS5556A3_COM1

各 OS 環境におけるデフォルトの
プリントキュー名とプリントサーバポート名

管理者用パスワード 管理者用のパスワードを設定すると、プリントサーバの設定を変更する際にパスワードの入力が必要になります。

テストページ NetWare 経由でテストページを印刷するかどうか選択することができます。テストページは、Axis プリントサーバが接続するすべての NetWare サーバ名を表示し、個々の接続のステータスを示します。

追加のプリントキューを接続・作成しない場合は、これで NetWare 環境でのインストールは完了です。

- 注意：**
- インストールウィザードで入力したパラメータは、必要に応じていつでも変更することができます。
 - インストールウィザードの設定中に誤ったパラメータを設定してしまっても、問題はありません。印刷結果に満足できない場合は、必要に応じてパラメータの調整を行うことができます。

IP を利用したキューベース印刷

Axis プリントサーバは、一般的なキューベース印刷 (IPX トランスポートプロトコルを利用) を Pure IP 環境で行うことを可能にします。

NetWare の Pure IP 環境では、プリンタ、プリントサーバ、キューオブジェクトの作成に NetWare アドミニストレータを利用する必要があります。

- 注意：**
- Pure IP を利用するには、NetWare 5.1 以上が必要です。

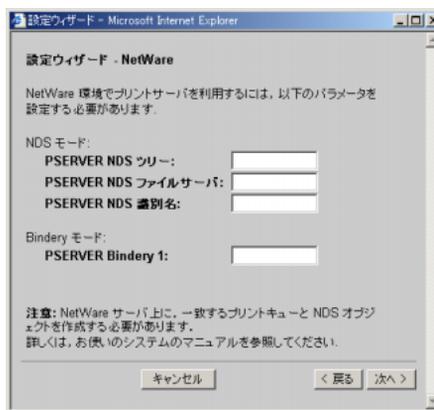
プリントサーバをインストールする

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバを NetWare Pure IP 環境にインストールしてください。

1. Web ブラウザを起動し、Axis プリントサーバの内部 Web ページにアクセスします。ユーザモードの [プリンタ概要] ページから、[設定ウィザード] アイコンをクリックします。
2. [設定ウィザード - NetWare] ページが表示されるまで、[次へ] をクリックします。
3. [設定ウィザード - NetWare] ページで、以下の設定を行います。
 - PSERVER NDS ツリー : NDS ツリーの名前を入力。
例 : NW5TREE

または

- PSERVER NDS ファイルサーバ：NDS ファイルサーバの名前を入力。例：FILESERVERNAME
- PSERVER NDS 識別名：NDS の識別名を入力。
例：AXISxxxx. コンテキスト



設定ウィザードの NetWare 設定ページ

4. NetWare アドミニストレータを利用して、プリンタ、プリントサーバ、およびキューオブジェクトを NDS ツリーに作成し、互いにリンクさせます。また、NetWare アドミニストレータの [ツール] から、[プリントサービスクイックセットアップ (非 NDPS)] を利用してこれらの設定を行うこともできます。
5. ワークステーションからプリンタの追加ウィザードを起動して、プリンタをインストールします。ただし、NDS のキューベースによる PSERVER印刷のみに対応しています。プリンタの追加ウィザードでは、ネットワークプリンタを選択し、作成したキューを選択してください。また、ローカルプリンタを選択してキャプチャしたキューを選択することもできます。

Axis プリントサーバの管理・設定は、一般的な Web ブラウザを利用して行うことができます。詳しくは、86 ページ「Web ブラウザを利用する」を参照してください。

IPX と IP プロトコルの両方を利用しているネットワークで、プリントサーバの [NetWare トランスポートプロトコル] パラメータが **DUAL_STACK** (デフォルト設定) に設定されている場合、IPX プロトコルが選択されます。IP プロトコルを使用する場合は、[NetWare トランスポートプロトコル] パラメータを **IP_ONLY** に変更してください。

キューベース印刷の方法

以下に、NetWare 環境で対応している 2 種類のキューベース印刷の長所と短所についてそれぞれ説明します。

プリントサーバ モード

Axis プリントサーバはファイルサーバにログインし、プリントジョブに対するプリントキューを繰り返しポーリングします。このように、Axis プリントサーバは NetWare プリントサーバ、つまり PSERVER が動作するコンピュータをエミュレートします。このモードは、ネットワークに負荷をかけない高速印刷を提供します。PSERVER モードの Axis プリントサーバは、それぞれ NetWare ライセンスを一つ必要とします。

長所 • 高速。一般的には、1 M バイト / 秒まで。

短所 • バインダリモードでは、ファイルサーバとの接続のために個々の Axis プリントサーバに対して NetWare ユーザライセンスを一つ必要とします。

リモートプリンタ モード

Axis プリントサーバは、ファイルサーバで動作する PSERVER プログラム (NLM) や PSERVER.EXE が動作する専用のワークステーションに接続します。そして、ファイルサーバから自動的にプリントジョブを受け取ります。このように、Axis プリントサーバは、NetWare リモートプリンタソフトウェア RPRINTER、あるいは、NPRINTER が動作するワークステーションをエミュレートします。このモードは、NetWare ユーザライセンスの数が大きな問題となるような、小さなネットワークに対してのみ推奨されます。

長所 • NetWare ユーザライセンスを必要としない。

短所 • 低速。一般的には、NLM の場合で 20 ~ 70K バイト / 秒。
• ネットワークの負荷が高くなる。

第 6 章 セットアップ - OS/2

この章では、OS/2 環境で印刷を行うための、Axis プリントサーバの設定方法について説明します。

インストール方法	プロトコル	参照
AXIS Print Utility for OS/2	NetBEUI/NetBIOS	61 ページ「AXIS Print Utility for OS/2 を利用する」

Axis プリントサーバをマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

- 23 ページ「第 4 章 セットアップ - Windows」
- 39 ページ「第 5 章 セットアップ - NetWare」
- 65 ページ「第 7 章 セットアップ - Macintosh」
- 71 ページ「第 8 章 セットアップ - UNIX」

AXIS Print Utility for OS/2 を利用する

まず、AXIS Online CDに含まれているAXIS Print Utility for OS/2の自己解凍プログラムを、フロッピーディスクにコピーしてください。プログラムは、AXIS Online CD の以下のディレクトリに収録されています（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）。

```
D:\software\faxpu\axpu116.exe
```

続いて、フロッピーディスク上にコピーした **axpu116.exe** を実行します。インストールの手順については、付属の「補足資料」を参照してください。

Axis プリントサーバのデフォルトの名前やその他のパラメータを変更する場合は、標準的な Web ブラウザや、お使いのネットワーク上に接続されている Windows プラットフォームから **AXIS NetPilot** を利用してください。詳しくは、85 ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。

ネットワーク印刷を行うには、それぞれの PC 上に **AXIS Print Utility for OS/2** をインストールする必要があります。

AXIS Print Utility for OS/2 について

AXIS Print Utility for OS/2 は、OS/2 環境でネットワーク印刷を行うためのアプリケーションです。AXIS Print Utility for OS/2 は、以下のことを可能にします。

- Axis プリントサーバのポートを OS/2 プリンタポートとしてインストールし、維持する。
- Axis プリントサーバのポートに送られたプリントジョブをキャプチャし、監視する。

プリントジョブは、ローカルハードディスクにあるスプールディレクトリを経由して送られます。お使いの AXIS Print Utility for OS/2 のプリンタポートのステータスを監視し、プリントジョブの終了や問題の状態を知らせるためにポップアップ通知メッセージを生成することもできます。

- 注意：** □ AXIS Print Utility for OS/2 をインストール（使用）するには、NetBEUI プロトコルがアクティブになっている必要があります。アクティブになっていない場合は、MPTS/LAPS (LAN Server)、SETUP (LAN Manager) を使用してアクティブにします。

Axis プリントサーバをインストールする

1. AXIS Print Utility for OS/2 を動作させ、[Install] をクリックして Axis プリントサーバをインストールします。ポート名は、名前.LP1、名前.LP2、または名前.CM1 のようにリストに表示されます。名前は、AX にプリントサーバのシリアル番号の下 6 桁の英数字を続けたものです。たとえば、ポート名は「AX5556A3.LP1」のようになります。
2. インストールしたいポートを選択し、[Install] をクリックします。

この手順を、Axis プリントサーバを利用するそれぞれの PC に対して繰り返します。

- 注意：** □ Axis プリントサーバを利用して印刷するには、AXIS Print Utility for OS/2 が常に動作している必要があります。

Axis プリントサーバを OS/2 環境に統合する

プリントキューを 作成する

1. [テンプレート] フォルダをダブルクリックし、マウスの右ボタンを押しながら [プリンタ] アイコンをワークスペースシェル (または、フォルダの中に) ドラッグします。
2. 名前のフィールドに、任意の名前を入力します。
3. 出力ポートリストから、\PIPE\ 名前.LP1、\PIPE\ 名前.LP2 を選択し、省略時プリンター・ドライバリストからお使いのプリンタに適したプリンタドライバを選択します。
4. [OK] をクリックし、プリンタの定義を承認します。

プリントキューを 共用する

プリントキューを他のコンピュータ (クライアントやサーバ) からアクセスできるようにするには、そのプリントキューを共用リソースにする必要があります。OS/2 ウィンドウを開き、以下のコマンドを発行します。

```
NET SHARE キュー名 /PRINT
```

ここで、キュー名は、上で作成したキューの名前です。

OS/2 Warp の IBM ピアサービスを利用してプリンタリソースを共有するには、以下の手順にしたがってください。

1. プリンタオブジェクトの上でマウスの右ボタンをクリックします。
2. [共用]、続けて、[共用の開始] を選択します。ダイアログボックスで、記述を入力します。
3. [LAN ワークステーション始動時に共用を開始] のチェックボックスを選択します。
4. [OK] をクリックします。

LAN Server 4.0 を利用してプリンタリソースを共有するには、以下の手順にしたがってください。

1. [LAN サーバ管理] を開きます。
2. お使いのドメイン、続けて、[リソース定義] を開きます。
3. テンプレートからプリンタをドラッグ & ドロップします。
4. 別名を入力し、サーバー名および上で作成したスプーラー待ち行列 (プリントキュー) 名を選択します。
5. [OK] をクリックします。

これで、セットアップは完了し、Axis プリントサーバを利用して印刷できるようになりました。

第 7 章 セットアップ - Macintosh

この章では、AppleTalk を利用して Macintosh 環境で印刷を行う手順について説明します。

Axis プリントサーバをマルチプロトコル環境で利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 4 章 セットアップ - Windows」

61 ページ「第 6 章 セットアップ - OS/2」

39 ページ「第 5 章 セットアップ - NetWare」

71 ページ「第 8 章 セットアップ - UNIX」

セレクトタを利用したインストール

基本設定 AppleTalk 環境での基本設定は、セレクトタから使用するプリンタを選択して行います。

Axis プリントサーバのデフォルト名の変更、また config ファイルを編集して他のデフォルトのパラメータを変更することができます。Macintosh から Axis プリントサーバの config ファイルにアクセスするには、以下の方法があります。

- Java を利用できる Web ブラウザ
- FTP アプリケーション (MacTCP、Fetch、Anarchie など)

これらの方法を利用する場合は、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てておく必要があります。詳しくは、68 ページ「パラメータを設定する」を参照してください。

プリンタの選択

プリンタを選択する

プリンタを選択する方法は、お使いの LaserWriter プリンタドライバのバージョンによって異なります。

- LaserWriter 7.x ドライバは、標準的な PostScript ドライバを利用するものと想定し、プリンタ固有の機能を利用することはできません。
- The LaserWriter 8.x ドライバは、プリンタの情報を記述した PPD を利用します。よって、プリンタが持つ機能を制御することができます。

LaserWriter 7.x プリンタドライバ

以下の手順にしたがって、プリンタを選択してください。

1. アップルメニューからセレクトタを選択します。
2. **LaserWriter** アイコンをクリックします。
3. お使いのネットワークに複数のゾーンがある場合、利用するゾーンをクリックします。ゾーンがない場合は、ゾーンのボックスは現れません。
4. 利用するプリンタをクリックして選択します。Axis プリントサーバのプリンタ名は、デフォルトで **AXISxxxxxx_**ポート、のように表示されます。xxxxxx は、Axis プリントサーバのシリアル番号の下 6 桁の英数字、ポートには LPT1、LPT2、または COM1 が表示されます。たとえば、「AXIS5556A3_LPT1」のようになります。
5. クローズボックスをクリックします。設定が完了し、セレクトタが閉じられます。

上記の手順を、Axis プリントサーバを利用するネットワーク上の Macintosh コンピュータでそれぞれ行います。

LaserWriter 8.x プリンタドライバ

以下の手順にしたがって、プリンタを選択してください。

1. アップルメニューからセレクトタを選択します。
2. **LaserWriter 8.x** アイコンをクリックします。
3. お使いのネットワークに複数のゾーンがある場合、利用するゾーンをクリックします。ゾーンがない場合は、ゾーンのボックスは現れません。

4. 利用するプリンタをクリックして選択します。Axis プリントサーバのプリンタ名は、デフォルトで `AXISxxxxxx_ポート名`、のように表示されます。`xxxxxx` は、Axis プリントサーバのシリアル番号の下 6 桁の英数字、ポートには LPT1、LPT2、または COM1 が表示されます。たとえば、「AXIS5556A3_LPT1」のようになります。
5. [作成] をクリックします (ボタンの名前は、LaserWriter ドライバのバージョンによって異なります)。選択したプリンタが双方向印刷に対応し、さらに適切な PPD ファイルが利用できる場合は、インストール作業は自動的に行われるため、手順 7 へ進むことができます。それ以外の場合は、手順 6 で説明されているように、PPD ファイルを手動で選択する必要があります。
6. お使いのプリンタに合った PPD ファイルを選択し、[選択] をクリックします。お使いのプリンタが PPD ファイルのリストにない場合は、お使いのプリンタの販売元にお問い合わせください。プリンタ固有の機能が不要な場合は、一般設定を使用してください。
7. [OK] をクリックし、クローズボックスをクリックします。設定が完了し、セレクトが閉じられます。

上記の手順を、Axis プリントサーバを利用するネットワーク上の Macintosh コンピュータでそれぞれ行います

双方向サポート

Axis プリントサーバは、プリンタドライバがプリンタと直接通信できるようにします。これにより、プリントジョブの制御が容易になります。たとえば、プリンタに内蔵されていないフォントの自動ダウンロードが可能になります。

古いプリンタや Macintosh コンピュータとの互換性も提供されます。つまり、接続されたプリンタが双方向通信をサポートしない場合、Axis プリントサーバは、Macintosh からのプリンタに関する問い合わせに対して適切な応答を生成することができます。

セットアップの確認

選択したプリンタとの通信を確認するには、Macintosh コンピュータから単純に何かドキュメントを印刷してみてください。印刷テストが思い通りのものである場合は、基本的なインストールは完了したと考えることができます。これで、Axis プリントサーバは、プリントサーバとして利用する準備ができました。

ASCII、TBCP、
および BCP

ASCII (American Standard Code for Information Interchange) は、インターネット上のコンピュータで最も一般的なテキストファイルのためのフォーマットです。ASCII ファイルでは、英数字や特殊記号は7ビットで表されます。128文字が割り当てられています。

TBCP (Tagged Binary Communication Protocol) と BCP (Binary Communication Protocol) は、プリンタのシリアルポートとパラレルポートで利用される通信プロトコルです。これらのプロトコルでは、ファイル中、通信やプリントジョブの制御のために8ビットバイナリデータを利用することができます。TBCP は、ある種のプリンタ、たとえば HP 社のプリンタでバイナリデータストリームを利用して印刷するために必要とされています。

パラメータを
設定する

AppleTalk では、Axis プリントサーバのパラメータのいくつかを変更することができます。

- 使用するバイナリ転送プロトコルのタイプを選択する (BINARY_TYPE_1、BINARY_TYPE_2、BINARY_TYPE_3 パラメータ)
- AppleTalk のプリンタタイプを指定する (ATYPE_1、ATYPE_2、ATYPE_3 パラメータ)
- IP アドレスを設定する (INT_ADDR パラメータ)

お使いの Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てると、標準的な Web ブラウザや FTP を利用してプリントサーバのすべてのパラメータにアクセスできるようになります。詳しくは、85 ページ「第10章 設定と管理」を参照してください。

以下の例では、AppleTalk で Axis プリントサーバのパラメータを設定する方法を説明します。

重要： お使いの Axis プリントサーバを設定する際、この例のパラメータ値をそのまま利用しないでください。お使いのプリンタやネットワーク設定に対して適切な値を選択する必要があります。

以下の手順にしたがってください。

1. セレクタを開きます。
2. ネットワークプリンタドライバを選択します。LaserWriter なら何でも構いません。
3. 名前が「_CFG」で終わるプリンタポートを選択します。

4. セレクタを閉じます。
5. テキストエディタ、たとえば SimpleText を開きます。
6. 設定したいパラメータを含むテキストファイルを作成します。

BINARY_TYPE_1.	:BCP
INT_ADDR.	:192.168.70.183
ATYPE_1.	:EPSONLQ2

設定したくないパラメータは、テキストファイルに入れる必要はありません。個々のパラメータの有効値については、121 ページ「第 14 章 パラメータリスト」を参照してください。

7. テキストファイルを印刷します。設定は、プリントサーバ内に保存されます。
8. セレクタを開き、ドキュメントを印刷するために利用するプリンタポートを選択します。
9. セレクタを閉じます。

注意： □ 名前が「_CFG」で終わるプリンタポートは、Axis プリントサーバの電源を入れてから 1 時間後に見えなくなります。再び見えるようにする場合は、Axis プリントサーバを再起動する必要があります。

第 8 章 セットアップ - UNIX

UNIX 環境でのインストール

15 ページ「IP アドレスの割り当て」の手順にしたがって TCP/IP の基本設定を完了すれば、LRP、FTP、ReverseTelnet を利用した印刷が可能になります。

まずは、Axis プリントサーバをホストのスピーラに統合する必要があります。この作業には、*axintall* を利用することができます。このユーティリティソフトウェアは Axis プリントサーバに常駐し、FTP を利用してホストにスクリプトをダウンロードするので、ディスクを必要としません。*axinstall* スクリプトは AXIS Online CD にも含まれています。

この作業を終了すると、Axis プリントサーバはまるでホストプリンタスピーラに直接接続されているかのように見えます。

マルチプロトコル環境で Axis プリントサーバを利用する場合は、以下の章も参照してください。

23 ページ「第 4 章 セットアップ - Windows」

61 ページ「第 6 章 セットアップ - OS/2」

39 ページ「第 5 章 セットアップ - NetWare」

65 ページ「第 7 章 セットアップ - Macintosh」

ホストのプリンタ スプーラへの 組み込み

Axis プリントサーバをホストのプリンタスプーラに統合するには、中にある自動インストールスクリプト *axinstall* を利用することができます。以下の手順にしたがい、FTP を利用してお使いのホストにこのスクリプトを転送してください。

1. 以下のコマンドを利用して Axis プリントサーバにログインします。

```
ftp ホスト名 または ftp IP アドレス
```

2. ユーザ ID として *root*、パスワードとして *pass* を入力します。

3. 以下のコマンドを利用してスクリプトを転送します。

```
get axinstall
```

お使いの FTP のバージョンにより、*quit*、*bye*、*exit* コマンドを利用してログアウトします。

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 5600+ FTP Print Server v6.34 June 25 2003 ready.
Name (npserver:thomas): root
331 User name ok, need password
Password: pass (見えません)
230 User logged in
ftp> get axinstall
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for axinstall
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
local: axinstall remote: axinstall
61187 bytes received in 14 seconds (4.2 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
>
```

axinstall スクリプトを転送するための典型的な FTP セッション

これで、お使いのホストに *axinstall* スクリプトが転送されました。以下のコマンドを利用してスクリプトを実行します。

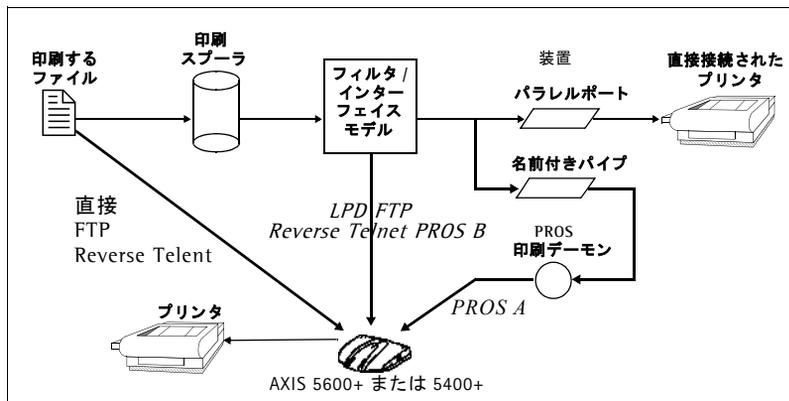
```
sh axinstall
```

手順が示され、インストール作業がガイドされます。インストールの間に、印刷方法を選択するよう尋ねられます。LPD を選択することを推奨します。印刷方法の選択に関してガイドが必要な場合は、以降のページを参照してください。また、*axinstall* スクリプトを利用した UNIX 環境での設定の詳細は、AXIS Online CD に含まれている「補足資料」を参照してください。

TCP/IP ネットワークにおける印刷方法

Axis プリントサーバは、TCP/IP 環境で利用できるいくつかの印刷方法に対応しています。*axinstall* は、特定の UNIX システムに合った印刷方法を提示しますが、印刷の用途に合った別の方法を選択することもできます。

以下の図には、UNIX での印刷方法で利用されるデータの流れが示されています。それぞれの方法には、長所と短所があります。以下の情報をもとに、どの方法を利用するか決定してください。



UNIX での印刷方法の例

LPD LPD (Line Printer Daemon) は、ホスト間でプリントジョブを転送するためのプロトコルです。ほとんどの UNIX システムで推奨される方法ですが、System V 系 UNIX の中には LPD に対応していないものもあります。

長所：

セットアップが簡単で、System V 系 UNIX では Axis プリントサーバをリモートキューとしてインストールし、BSD 系 UNIX では、*rm*、*rp* フィールドを利用して */etc/printcap* にリモートプリンタを追加します。

短所：

スプーラ機能や、*printcap*、*lpr* オプション (BSD 系 UNIX)、たとえば、複数コピー等が利用できません。

FTP FTP (File Transfer Protocol) は、ホスト間でファイルを転送するために利用されます。

長所 :

ホスト上の業界標準ネットワークソフトウェア (ftp コマンド) を利用できます。

短所 :

プリンタのステータスログを取ることができません。BSD 系 UNIX の場合は、他の入力フィルタ、出力フィルタと共存できないか、入力または出力フィルタを両方とも利用できません。System V 系 UNIX では、フィルタもインターフェイスプログラムも利用できません。

PROS Axis で開発されたプロトコルです。名前付きパイプ (PROS A)、フィルタ (PROS B) の二種類があります。

PROS A PROS A - 長所 :

Axis プリントサーバは、システムにとってはデバイスとして見えます。これにより、フィルタやモデルオプションが利用できるようになります。アカウント統計やステータスログの取得機能が提供されます。双方向印刷に対応しています。プリンタからのリードバック情報は、ログファイル中で見ることができます。

PROS A - 短所 :

PROS A ドライバを生成するには、C コンパイラが必要になります。

PROS B PROS B - 長所 :

アカウント統計やステータスログの取得機能が提供されます。双方向印刷に対応しています。プリンタからのリードバック情報は、ログファイル中で見ることができます。

PROS B - 短所 :

PROS B ドライバを生成するには、C コンパイラが必要になります。BSD 系 UNIX の場合は、他の入力フィルタ、出力フィルタと共存できないか、入力および出力フィルタを両方とも利用できません。System V 系 UNIX では、インターフェイスプログラムは利用できません。

Reverse Telnet ターミナルサーバのプリンタポート経由での印刷に使用します。すでに Reverse Telnet ドライバがインストールされている場合のみ、推奨される方法です。

長所：

Reverse Telnet ドライバがインストールされていれば、セットアップは簡単です。

短所：

ステータスログを取ることができません。ドライバは Axis プリントサーバには付属していません。既存のドライバは低速の場合があります。

他の UNIX システム ほとんどの UNIX システムは、BSD 系か System V 系に似ているため、工夫をすれば、その他の UNIX に対しても解決策を考えることが可能です。

システムが BSD 系 UNIX のソケット型ネットワークサポートを持っている場合は、prosbds (Axis プリントサーバの bsd ディレクトリ内) を出発点として利用できます。これは、stdin からプリントデータを受け取り、stderr にログファイルを書き込みます。stdout には何も書き込みません。

あるいは、FTP が利用できるかもしれません。出発点として bsd/ftp_bsd や sysv/ftp_sysv を利用するとよいでしょう。

第 9 章 論理プリンタ

Axis プリントサーバは、印刷データを変更する強力な機能を備えています。ご希望の印刷フォーマットを、お使いのプリンタで利用することができます。Axis プリントサーバは、以下の機能に対応しています。

- プリンタに合わせて文字列を変換
- 印刷データの前後に文字列を追加
- 印刷データ内の文字列を置換
- ASCII から PostScript に変換
- プリンタがビジーの場合、印刷データを他のプリンタにリダイレクト
- 印刷の問題解決に役立つ 16 進ダンプモード

論理プリンタは、これらの機能を利用する場合に、プリンタポートに印刷データが送られる前に印刷データを変換するために使用します。印刷データをフィルタリングするよう設定できる論理プリンタは、全部で 8 つあります。

デフォルトの論理プリンタの設定では、論理プリンタ PR1 ～ PR4 は印刷データの流れに変更を加えません。論理プリンタ PR5 ～ PR8 は、LF 制御文字に CR を付加します。

論理プリンタ データへの変更

PR1	変更なし
PR2	変更なし
PR3	変更なし
PR4	変更なし
PR5	LF に CR を付加
PR6	LF に CR を付加
PR7	LF に CR を付加
PR8	LF に CR を付加

それぞれの論理プリンタは、Axis プリントサーバの内部 Web ページから設定することができます。Web ブラウザを起動し、[場所 / アドレス] フィールドにプリントサーバの IP アドレスを入力してください。[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] ボタンをクリックしてください。

論理プリンタは、config ファイルを編集して設定することもできます。

- 注意：**
- 以下の例は、標準的な Web ブラウザを利用した設定方法について説明します。config ファイルを直接編集する場合は、単純に対応するパラメータの値を変更してください。
 - 以下の例は、論理プリンタを設定する参考としてご覧ください。実際には、お使いのネットワークでの必要性に応じて論理プリンタを設定する必要があります。
 - 利用可能なパラメータについては、121 ページ「第 14 章 パラメータリスト」を参照してください。
 - 利用可能な管理ツールについては、85 ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。

プリントジョブの 前後に文字列を 付加する

この機能は、それぞれのプリントジョブの前後にプリンタの制御コマンドを送る方法を提供します。各論理プリンタに対し、別々に指定することができます。

すべての文字列は、16 進のバイト値として入力します。プリントジョブの前後に文字列を付加する場合は、次の「文字列の置換」の 2 番目の例を参照してください。

文字列の置換

文字列の置換機能は、印刷データ上で検索・置換操作を実行します。主な用途は、プリンタの制御コマンドを置換することです。それぞれの論理プリンタに対して、最大 20 組までの文字列置換を指定することができます。

すべての文字列は 16 進のバイト値として入力し、それぞれの検索・置換文字列の前にカウントバイトを置く必要があります。

文字列置換パラメータ (PRx_STR) を編集して、コマンド文字列を置換します。

例： 論理プリンタ 1 に対して、UNIX の改行 (16 進 0A) を ASCII の改行 (16 進 0D 0A) で置き換えると仮定します。

以下の手順にしたがって、コマンド文字列を置換してください。

1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] をクリックします。
2. [PR1] タブを選択します。

3. [文字列の置換] パラメータに、01 0A 02 0D 0A を入力します。

16 進コード 説明

01	検索する文字列の長さ
0A	検索する文字列
02	置換する文字列の長さ
0D 0A	置換する文字列

4. [OK] ボタンをクリックします。

これは、論理プリンタ (PR5 ~ PR8) に対するデフォルト設定です。

例 : デフォルトのエミュレーションモードが PR201H であるようなキヤノン製の LIPS プリンタに対し、UNIX からシフト JIS 漢字コードを含むテキストファイルを印刷すると仮定します。PR201H モードでは、シフト JIS、EUC、JIS のどの漢字コードを送っても、そのままでは漢字を出力することはできません。そこで、プリントジョブの前に PR201H モードを LIPS に切り替えるコマンド (16 進 1B 25 30) を送り、印刷中は UNIX の改行を DOS の改行で置換し (上の例を参照)、プリントジョブの後に改ページコマンド (16 進 0C) とモードを PR201H に戻すコマンド (16 進 1B 25 31) を送るような設定を論理プリンタ 1 に対して行うには、以下の手順にしたがってください。

1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] をクリックします。
2. [PR1] タブを選択します。
3. [プリントジョブ前の文字列] パラメータに、文字列 1B 25 40 1B 25 30 を入力します。
4. [文字列の置換] パラメータに、文字列 01 0A 02 0D 0A を入力します。
5. [プリントジョブ後の文字列] パラメータに、文字列 01 1B 25 31 を入力します。
6. [OK] ボタンをクリックします。

注意 : 文字列の置換を多用すると、Axis プリントサーバのスループットが低下します。

ASCII から Postscript への変換

Axis プリントサーバの論理プリンタは、ASCII 形式の印刷データを PostScript 形式に変換することができます（ただし、日本語には対応していません）。この機能により、PostScript に対応していないホストから PostScript プリンタに印刷を実行することができます。変換は、ASCII データを PostScript に変換するフィルタをアクティブにすることにより選択されます。このフィルタは、それぞれの論理プリンタに対して別々に実行することができます。

印刷言語変換パラメータ (PRx_FILT) を設定し、ご希望のフィルタをアクティブにしてください。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 2 に対して ASCII の印刷データを PostScript に変換してください。

1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] ボタンをクリックします。
2. [PR2] タブを選択します。
3. [印刷言語の変換] パラメータを、POSTSCR に設定します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

パラメータ値 AUTO_PS を選択した場合、それぞれのプリントジョブに対する印刷データが検索され、ASCII データがあった場合には PostScript への変換を実行します。印刷データが ASCII か PostScript か定かでない場合に推奨されるパラメータです。

PostScript の設定

論理プリンタを PostScript 変換に対して設定した場合は、以下の項目を指定してください。

- ページサイズ
- ページの向き
- ページのフォーマット
- 使用するフォント

デフォルトのページサイズは A4、ページの向きは縦置き、ページのフォーマットは以下のようになります。

ページフォーマット	デフォルト値	
1 ページ当たりの行数	66	
1 行当たりの文字数	0	0= 行の折り返しは無効
1 インチ当たりの文字数	10.0	
1 インチ当たりの行数	60	60 = 1 インチ当たり 60 行
左マージン	30	30 = 3.0 mm
上マージン	50	50 = 5.0 mm

PostScript フォントは、プリンタにインストールされている欧文フォントであればどれを使用しても構いません。フォントが指定されていない場合は、Courier が使用されます。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 2 に対して PostScript パラメータを設定してください。

1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] ボタンをクリックします。
2. [PR2] タブを選択します。
3. [印刷言語の変換] パラメータを、POSTSCR に設定します。
4. [PostScript ページサイズ] パラメータを、LETTER に設定します。
5. [PostScript ページの向き] パラメータを、LANDS に設定します。
6. [PostScript ページフォーマット] パラメータに、48 0 120 60 30 50 を入力します。

16 進コード 説明

48	1 ページ当たり 48 行
0	行の折り返しは無効
120	1 インチ当たり 12 文字
60	1 インチ当たり 6 行
30	左マージンは 3mm
50	上マージンは 5mm

7. [PostScript フォント] パラメータに、Helvetica を入力します。
8. [OK] ボタンをクリックします。

プリンタがビジーの時にプリントジョブをリダイレクトする

すでにビジー状態になっているプリンタが印刷データを受け取った場合、ホストは待機する必要があります。このような場合、Axis プリントサーバは目的のプリンタがビジーの時に、論理プリンタを利用して別の論理プリンタにプリントジョブをリダイレクトすることができます。2 番目のプリンタもビジーの場合は、ホストは目的のプリンタがレディー状態になるまで待機する必要があります。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 1 に割り当てたプリンタがビジーの時に、論理プリンタ 1 のプリントジョブを論理プリンタ 3 にリダイレクトしてください。

1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] ボタンをクリックしてください。
2. [PR1] タブを選択します。
3. [物理ポート] パラメータを、LPT1 に設定します。
4. [セカンダリプリンタ] パラメータを、PR3 に設定します。
5. [ビジー時に待機] パラメータを、NO に設定します。
6. [OK] ボタンをクリックします。
7. [PR3] タブを選択します。
8. [物理ポート] パラメータを、LPT2 に設定します。
9. [OK] ボタンをクリックします。

- 注意：**
- 論理プリンタのリダイレクトはネストできません。上の例で、論理プリンタ 3 が別の論理プリンタにリダイレクトされていても、論理プリンタ 3 がビジーの場合はプリントジョブはそれ以上リダイレクトされません。
 - 両方のプリンタがビジーの場合は、プリントジョブは現在アクティブなプリントジョブを最初に終えたプリンタに印刷されます。

情報のリードバック

Axis プリントサーバは、双方向印刷に対応しています。プリンタからの情報は、リードバックポートパラメータ (PRx_IN) がデフォルト値の AUTO に設定されている場合、リードバックされます。ただし、プリンタも双方向印刷に対応している必要があります。

双方向印刷について詳しくは、お使いのプリンタに付属のマニュアルを参照してください。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 1 に対する双方向通信を無効にしてください。

1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] ボタンをクリックします。
2. [PR1] タブを選択します。
3. [リードバックポート]パラメータを、NONE に設定します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

16 進ダンプモード を利用して デバッグする

16 進ダンプモードがアクティブになっている場合は、印刷データは文字ではなく、16 進のバイト値として印刷されます。プリンタの制御コマンドも 16 進の値として印刷されます。どのような制御文字や印刷文字がプリンタに送られようとしているかを調査することを可能にし、解決の困難な印刷に関する問題のデバッグ機能として利用できます。

例： 以下の手順にしたがって、論理プリンタ 3 に対して 16 進ダンプモードをアクティブにしてください。

1. Axis プリントサーバの内部 Web ページを開きます。
[管理者] ボタンをクリックし、[論理プリンタの設定] ボタンをクリックします。
2. [PR3] タブを選択します。
3. [16 進ダンプモードを有効にする] オプションを、YES に設定します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

注意： s □ 16 進ダンプモードのページ長は、PostScript ページフォーマットパラメータの 1 ページ当たりの行数によって決定されます。

第 10 章 設定と管理

Axis プリントサーバが提供する設定・管理ツールを利用すると、以下のことが行えます。

- config ファイルを編集し、プリントサーバのパラメータを変更する
- プリントジョブに関する拡張情報を取得する
- プリンタポートのステータスを取得する
- プリンタを監視する
- Axis プリントサーバを工場出荷時の状態に戻す
- Axis プリントサーバのファームウェアをアップグレードする（詳しくは、115 ページ「第 12 章 ソフトウェアの更新」を参照してください）

設定の概要

Axis プリントサーバを設定・管理する方法は、ネットワークで利用しているオペレーティングシステムとプロトコルによって異なります。以下の表に、Axis プリントサーバが対応するそれぞれの環境において、設定・管理で使用する方法について示します。

プロトコル (OS)	設定・管理方法
TCP/IP (UNIX、Windows 95/98/Me/NT/2000/XP)	86 ページ「Web ブラウザを利用する」 98 ページ「FTP を利用する」 101 ページ「Telnet を利用する」 104 ページ「SNMP を利用する」
NetBIOS/NetBEUI (Windows 95、98、Me、NT、OS/2)	91 ページ「AXIS NetPilot を利用する」
IPX/SPX (NetWare)	91 ページ「AXIS NetPilot を利用する」 106 ページ「ノベル社のユーティリティを利用する」
AppleTalk (MacOS)	86 ページ「Web ブラウザを利用する」

Web ブラウザを利用する

Axis プリントサーバに有効な IP アドレスを設定すれば、Java が利用できる Web ブラウザから自由に Axis プリントサーバの内部 Web ページにアクセスできるようになります。IP アドレスの設定については、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

Axis プリントサーバの内部 Web ページは、ユーザモードと管理者モードの二種類に分かれています。

ユーザ ユーザモードでは、パラメータの細かい設定を行うことはできません。ユーザモードは、管理者権限を持たないユーザが、プリントジョブやプリンタのプロパティを内部 Web ページで確認するためのページです。プリントサーバの設定を変更する場合は、管理者モードに入る必要があります。

管理者 管理者モードでは、プリントサーバのすべてのパラメータにアクセスし、自由に設定を変更することができます。管理者モードはネットワーク管理者のためのページで、権限のないユーザによるプリントサーバのパラメータ変更を防ぐために、パスワードで保護されています。

注意： config ファイル内の ROOT_PWD パラメータの設定が、デフォルトパスワードの `pass` から変更されていない場合、管理者モードへのアクセスに対するパスワード保護は実行されません。

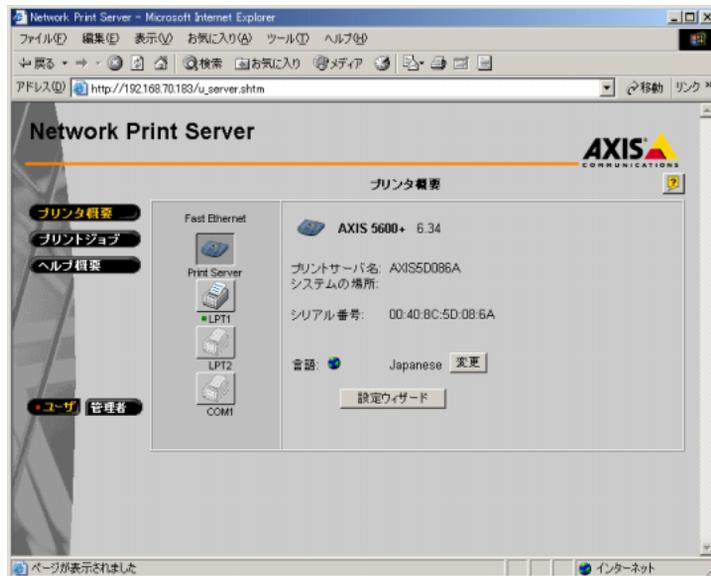
内部 Web ページに アクセスする

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバの内部 Web ページにアクセスしてください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. [場所 / アドレス] フィールドに、Axis プリントサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。



3. ユーザモードのホームページが開きます。



Axis プリントサーバユーザーモードのホームページ

4. [管理者] ボタンをクリックし、管理者モードに入ります。管理者用のパスワードがデフォルトの pass に設定されている場合は、ユーザ ID に root を入力してください。

ユーザモードの機能

プリンタ概要

ユーザモードでは、以下の機能が利用できます。また、インターネットをご利用の場合は、Axis のロゴをクリックすると Axis のホームページに移動します。

[プリンタ概要] ページには、Axis プリントサーバの一般的な設定が表示されます。定義されている場合は、プリントサーバの名前や位置が表示されます。

設定ウィザードを実行して Axis プリントサーバの基本的な設定を行うことができます。

プリンタアイコンをクリックすると、接続されているプリンタの概要が表示されます。接続されているプリンタのステータスや、対応する機能が表示されます。表示される情報は、プリンタの種類によって異なります。このページからテストページを印刷することもできます。

プリントジョブ

[プリントジョブ] ページでは、印刷されたバイト数、プリントジョブを実行したユーザ情報などを含む、現在のプリントジョブのステータスが表示されます。また、ユーザ、プロトコル、ファイルサイズなどを含むプリントジョブを、最新のログから順番に 20 個まで表示します。接続されているプリンタの利用時間をもとに、プリンタの利用方法をコントロールすることが可能です。

ヘルプ概要

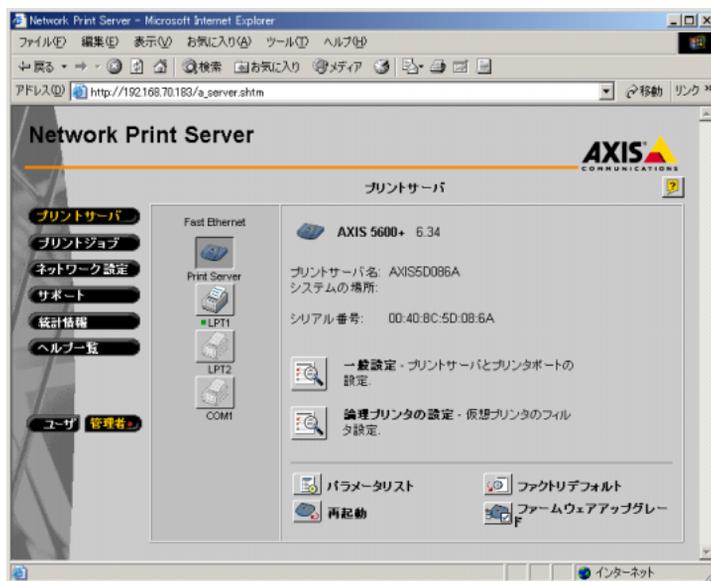
[ヘルプ概要] ページでは、Axis プリントサーバの基本的な情報がされます。お使いの PC にプリンタをインストールするためのツールについても、簡単に説明しています。

ウィザード

設定ウィザードを利用すれば、画面の手順にしたがってデフォルトの設定を確認しながらパラメータを変更できます。ウィザードを完了すれば、プリントサーバはプリンタやネットワークに合わせて正しく設定されます。

管理者モードの機能

管理者モードでは、以下の機能が利用できます。



Axis プリントサーバ管理者モードのホームページ

プリントサーバ

[プリントサーバ] ページでは、プリントサーバ名、ノードアドレス、パスワードなどを含む、Axis プリントサーバの一般的なパラメータ設定の確認および変更が行えます。また、8 つの論理プリンタの設定も行えます。Axis プリントサーバの再起動、および工場出荷時のデフォルト設定へのリセットなどの管理作業も行えます。

プリンタアイコンをクリックすると、接続されているプリンタの概要が表示されます。このページでは、接続されているプリンタのステータスや機能が表示されます。表示される情報は、プリンタの種類によって異なります。このページからテストページを印刷することもできます。

プリントジョブ

[プリントジョブ] ページでは、印刷されたバイト数、プリントジョブを実行したユーザ情報などを含む、現在のプリントジョブのステータスが表示されます。また、ユーザ、プロトコル、ファイルサイズなどを含むプリントジョブを、最新のログから順番に 20 個まで表示します。接続されているプリンタの利用時間をもとに、プリンタの利用方法をコントロールすることが可能です。

ネットワーク設定

[ネットワーク設定] ページでは、Axis プリントサーバとのネットワークトラフィックをコントロールするすべてのパラメータを設定することができます。対応するネットワークプロトコルの有効・無効の切り替えや、パラメータ設定の調整が行えます。

警告！

□ ネットワークに関連する設定は、ネットワーク管理者が行うようにしてください。

サポート

[サポート] ページでは、インストールおよび印刷に関する問題解決に役立つ情報を提供します。問題が速やかに解決しない場合は、サーバレポートを利用してください。サーバレポートには、Axis プリントサーバの設定、接続されているプリンタ、および現在のネットワーク設定などの情報が含まれており、問題解決に役立ちます。

統計情報

[統計情報] ページでは、Axis プリントサーバとのネットワークトラフィックに関する情報、また Axis プリントサーバに接続されているサーバや関連するサービスについての情報が表示されます。

ヘルプ一覧

[ヘルプ一覧] ページでは、Axis プリントサーバの内部 Web ページから行える設定・管理の概要について表示します。様々な環境で Axis プリントサーバをインストールする手順や、ファームウェアのアップグレードの手順について説明します。[索引] ボタンをクリックすると、オンラインヘルプへの項目ごとのリンクが表示されます。

パラメータリスト ボタン

[パラメータリスト] ボタンをクリックすると、プリントサーバの現在のパラメータ設定をすべて表示します。

- 再起動ボタン** [再起動] ボタンをクリックすると、プリントサーバを再起動します。
- ファクトリ
デフォルトボタン** [ファクトリデフォルト] ボタンをクリックすると、プリントサーバの設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。ただし、ノードアドレス(NODE_ADDR)、IPアドレス(INT_ADDR)、DHCP の有効・無効(DHCP_ENB)、Auto-IP の有効・無効(AUTOIP_ENB) を切り換えるパラメータは、リセットされません。
- ファームウェア
アップグレード
ボタン** この機能は、日本では対応していません。

AXIS NetPilot を利用する

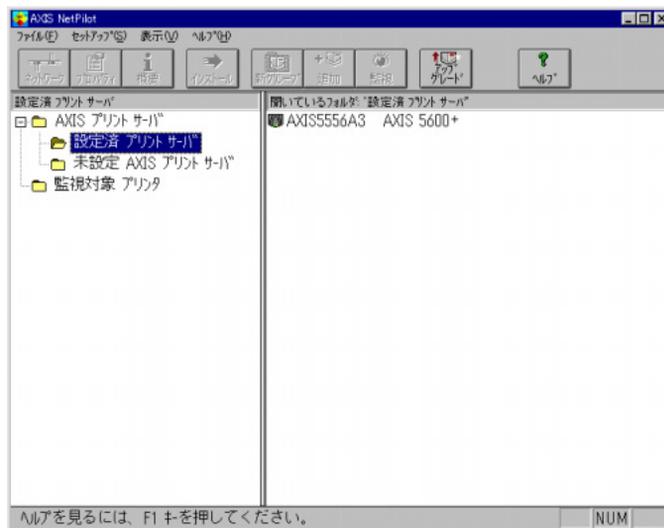
AXIS NetPilot は、IPX/SPX または NetBIOS/NetBEUI プロトコル経由の通信をサポートするネットワーク上で、Axis プリントサーバを設定するためのツールです。

AXIS NetPilot を利用して、以下のことが行えます。

- Axis プリントサーバのパラメータ値を変更する
- ネットワーク環境の設定を変更する
- ネットワーク上でプリンタを監視する
- 管理を簡素化するためにプリントサーバの論理的なグループを作成する
- Axis プリントサーバをアップグレードする

AXIS NetPilot を 起動する

[スタート] メニューから、[AXIS ユーティリティ (または、インストールディレクトリとして指定した名前)] - [NetPilot] - [AXIS NetPilot] を選択し、AXIS NetPilot を起動します。



AXIS NetPilot のメインウィンドウ

パラメータ値を 変更する

AXIS NetPilotには、パラメータ値を変更するための便利なツールが二つあります。

- プロパティページ：config ファイルの編集経験があまりない方で、視覚的に分かりやすいインターフェイスを必要とする場合は、プロパティページを利用してください。
- パラメータリストエディタ：config ファイルの編集に慣れている方は、素早く、効率的な編集が可能なパラメータリストエディタを利用してください。

プロパティページ

プロパティページを利用すると、パラメータの確認および変更を簡単に行うことができます。プロパティページは、お使いの環境にとって適切なタブのセットで構成されます。個々のパラメータは、適切なボックスを選択して編集することができます。

以下の手順にしたがって、任意のプロパティページの編集を行ってください。

1. [設定済プリントサーバ] フォルダから設定する Axis プリントサーバを選択します。
2. AXIS NetPilot のツールバーから [プロパティ] ボタンをクリックするか、メニューから [セットアップ] - [プロパティ] を選択します。
3. 変更したいパラメータを含むタブを選択します。
4. 値を変更します。
5. [適用] をクリックし、変更を保存します ([OK] をクリックすると、変更を保存してプロパティウィンドウを閉じます)。

パラメータリスト エディタ

パラメータリストエディタは、以下のことを可能にするシンプルなエディタです。

- Axis プリントサーバの config ファイルを編集する
 - お使いのハードディスクにカスタマイズされた config ファイルを保存する
 - 複数の Axis プリントサーバを同時に設定する
1. メニューから [セットアップ] - [パラメータリストの編集] を選択します。

2. **config** ファイルの読み込み先として [ファイルから]、または [プリントサーバから] を選択します。
3. [読み込み] ボタンをクリックします。**config** ファイルの内容がエディタに表示されます。
4. **config** ファイルを編集します。
5. 適切な保存先を [ファイルへ]、または [プリントサーバへ] から選択します。
6. [保存] をクリックし、変更した **config** ファイルを保存します。

ネットワーク環境を 変更する

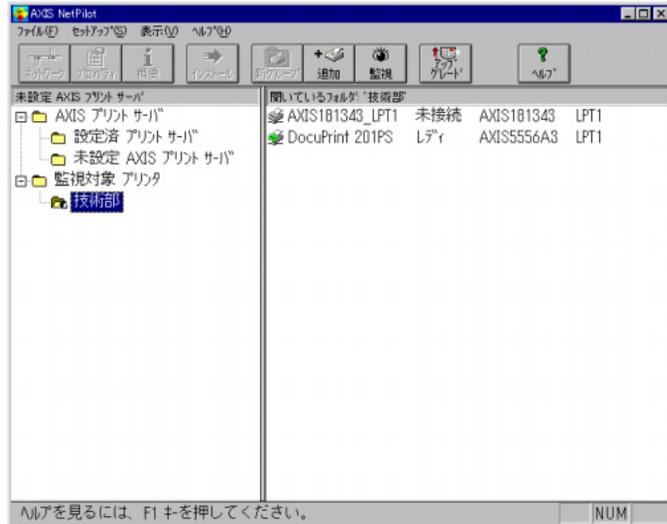
[ネットワーク環境] ウィンドウから、対応する環境のネットワーク設定を変更することができます。

以下の手順にしたがって、[ネットワーク環境] ウィンドウにアクセスしてください。

1. [設定済プリントサーバ] フォルダから設定する Axis プリントサーバを選択します。
2. **AXIS NetPilot** のツールバーから [ネットワーク] ボタンをクリックするか、メニューから [セットアップ] - [ネットワーク] を選択します。
3. 変更する環境のタブを選択します。

プリンタを監視する

プリンタの監視を容易にするため、プリンタの論理的なグループを作成することができます。個々のプリンタのステータスが、AXIS NetPilot のウィンドウに表示されます。



AXIS NetPilot の監視ウィンドウ

プリンタグループを作成する

以下の手順にしたがって、プリンタグループを作成してください。

1. 「監視対象プリンタ」フォルダを選択します。
2. AXIS NetPilot のツールバーから「新グループ」ボタンをクリックするか、メニューから「ファイル」 - 「新しいプリンタグループ」を選択します。
3. テキストフィールドにプリンタグループ名を入力し、「OK」をクリックします。

プリンタグループにプリンタを追加する

以下の手順にしたがって、プリンタグループにプリンタを追加してください。

1. 「監視対象プリンタ」フォルダに含まれるプリンタグループフォルダを選択します。
2. AXIS NetPilot のツールバーから「追加」ボタンをクリックするか、メニューから「ファイル」 - 「プリンタの追加」を選択します。

3. プリンタの追加ウィンドウが表示されます。グループに追加するプリンタが接続されているプリントサーバをクリックし、次にプリンタが物理的に接続されているポートを選択します。[OK] をクリックします。

プリンタを調べる

以下の手順にしたがって、プリンタを監視します。

1. [監視対象プリンタ] フォルダに含まれるプリンタグループフォルダを選択します。プリンタのステータスが、AXIS NetPilot の右側の領域に表示されます。
2. 新しいウィンドウを開いてステータスを表示する場合は、AXIS NetPilot ツールバーの [監視] ボタンをクリックします。

論理的に関係のある プリントサーバを グループ化する

AXIS NetPilot は、管理を簡素化するためにプリントサーバの論理的なグループを作成することができます。インストールされたプリントサーバは [設定済プリントサーバ] フォルダに表示され、これらのプリントサーバに対するショートカットをプリントサーバグループに追加することができます。ショートカット上で行われた管理操作は、プリントサーバの機能に影響します。

プリントサーバ グループを作成する

以下の手順にしたがって、プリントサーバグループを作成してください。

1. [AXIS プリントサーバ] フォルダを選択します。
2. AXIS NetPilot のツールバーから [新グループ] ボタンをクリックするか、メニューから [ファイル] - [新しいプリントサーバグループ] を選択します。
3. テキストフィールドにプリントサーバグループ名を入力し、[OK] をクリックします。

プリントサーバ グループにプリンタ を追加する

以下の手順にしたがって、プリントサーバグループにプリントサーバを追加してください。

1. [AXIS プリントサーバ] フォルダに含まれるプリントサーバグループフォルダを選択します。
2. AXIS NetPilot のツールバーから [追加] ボタンをクリックするか、メニューから [ファイル] - [プリントサーバの追加] を選択します。

3. ネットワークプリントサーバの追加ウィンドウが表示されます。プリントサーバを選択し、[OK] をクリックします。

プリントサーバを調べる

以下の手順にしたがって、プリントサーバを監視します。

1. [AXIS プリントサーバ] フォルダに含まれるプリントサーバグループフォルダを選択します。
2. プリントサーバを選択します。

プリンタ情報

以下の手順にしたがって、[監視] ウィンドウに表示されているプリンタから詳しいプリンタ情報を取得します（情報は接続されているプリンタによって異なります）。

1. [監視対象プリンタ]フォルダから、利用するプリンタフォルダを選択します。
2. 利用するプリンタプリンタアイコンをクリックし、メニューから [ファイル] - [プリンタ情報] を選択します。



AXIS NetPilot のプリンタ情報ウィンドウ

また、[概要] ウィンドウでも詳しいプリンタ情報を見ることができます（情報の内容は接続されたプリンタによって異なります）。



AXIS NetPilot の概要ウィンドウ

プリントサーバをアップグレードする

Axis プリントサーバの製品ソフトウェア（ファームウェア）をアップグレードするために、AXIS NetPilot のファームウェアウィザードを利用することができます。詳しくは、

その他

AXIS NetPilot の機能について詳しくは、AXIS NetPilot オンラインヘルプ、または付属の「補足資料」を参照してください。

FTP を利用する

Axis プリントサーバに有効な IP アドレスを割り当てれば、FTP (File Transfer Protocol) を利用して Axis プリントサーバのパラメータ設定を変更することができます。IP アドレスの割り当てについては、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

config ファイルを 編集する

以下の手順にしたがって、FTP を利用して config ファイルを編集してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインしてください。

```
ftp ホスト名または ftp IP アドレス
```

2. ユーザ ID とパスワードを入力します (デフォルトでは、root と pass です)。
3. 以下のコマンドを入力して、config ファイルをホストに転送します。

```
get config
```

4. テキストエディタを利用して、config ファイルを編集してください。
5. 以下のコマンドを入力し、Axis プリントサーバに編集した config ファイルを保存します。

```
put config CONFIG
```

- 注意：**
- 送り先のファイルは、大文字 (CONFIG) で指定してください。大文字で指定しなかった場合、編集は一時的なものとして扱われ、一度 Axis プリントサーバの電源を落とすと編集内容が失われます。
 - Macintosh から config ファイルを編集する場合、MacTCP、Fetch、Anarchie などの FTP サポートが必要になります。config ファイルを編集するための手順は、上記と同じです。

次の例は、DOS 窓から FTP を利用してお使いのホストに config ファイルを転送し、Axis プリントサーバに編集後のファイルを保存する方法を示しています。

例：

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 5600+ FTP Print Server v6.34 June 25 2003 ready.
Name (npserver:thomas): root
331 User name ok, need password
Password: pass          (見えません)
230 User logged in
ftp> get config
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for config
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.24 seconds (35.63 kbytes/s)
ftp> put config CONFIG
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for CONFIG
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.45 seconds (19.04 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
>
```

Status ファイルを 見る

status コマンドは、論理プリンタが割り当てられているプリンタポート、またそれらのステータスを表示します。

以下の手順にしたがって、FTP を利用してステータスを確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

```
ftp ホスト名 または ftp IP アドレス
```

2. ユーザ ID とパスワードを入力します (デフォルトでは、root と pass です)。
3. 以下のコマンドを入力して、status ファイルをホストに転送します。

```
get status
```

4. テキストエディタを利用して、status ファイルの内容を表示してください。

Account ファイルを 見る

account ファイルには、最近 20 個のプリントジョブに関するデータが含まれています。内部ジョブ番号、ジョブを発行したユーザ、使用されたプロトコルとプリンタ、現在のステータス (完了、オフライン、印刷中)、印刷されたバイト数、経過時間とオフライン時間を表示します。

以下の手順にしたがって、FTP を利用して account ファイルを確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

```
ftp ホスト名 または ftp IP アドレス
```

2. ユーザ ID とパスワードを入力します (デフォルトでは、root と pass です)。
3. 以下のコマンドを入力して、account ファイルをホストに転送します。

```
get account
```

4. テキストエディタを利用して、account ファイルの内容を表示してください。

FTP のヘルプ 上記の手順 3 で、`help` と入力してください。利用可能なコマンドのリストが表示されます。

Telnet を利用する

Axis プリントサーバに有効な IP アドレスを割り当てれば、TELNETを利用してAxisプリントサーバのパラメータ設定を変更することができます。IP アドレスの割り当てについては、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

Account ファイルを 見る

`account` ファイルには、最近 20 個のプリントジョブに関するデータが含まれています。内部ジョブ番号、ジョブを発行したユーザ、使用されたプロトコルとプリンタ、現在のステータス（完了、印刷中）、印刷されたバイト数、経過時間とオフライン時間を表示します。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用して `account` ファイルを表示してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

```
telnet ホスト名 または telnet IP アドレス
```

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です）。
3. 以下のコマンドを入力して、`account` ファイルを表示します。

```
account
```

次の例は、UNIX のシェルウィンドウから TELNET を利用して `account` ファイルを表示する方法を示しています。

例：

```
> telnet npserver
Trying 192.36.253.96...
Connected to npserver.
Escape character is '^]'.

AXIS 5600+ TELNET Print Server v6.34 June 25 2003

AXIS 5600+ network login: root
Password: pass      (見えません)

AXIS 5600+ TELNET Print Server v6.34 June 25 2003

Root> account
Current account file:
JOB          USER      PROT      LPR S BYTES ETIME
-----
1           Thomas    FTP        pr2 C 1885  2
2           Joe       LPT        pr1 C 23074 4
3           RICHARD   PSERVER    pr2 C 43044 5
4           MacUser   APPLE      pr1 C 6717  2
5           LSLM_userNetBIOS pr2 C 36995 3
6           patrick   PROS       pr5 P 83208 9

Root>
```

Account ファイルを見るための典型的な TELNET セッション

Status ファイルを見る

status コマンドは、論理プリンタが割り当てられているプリンタポート、またそれらのステータスを表示します。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用してステータスを確認してください。

1. Windows 環境では、DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。UNIX ではシェルウィンドウを開きます。以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

```
telnet ホスト名 または telnet IP アドレス
```

2. ユーザ ID とパスワードを入力します (デフォルトでは、root と pass です)。
3. 以下のコマンドを入力して、status ファイルをホストに転送します。

```
status
```

リセットを実行する

ソフトリセット、ハードリセット、プリントサーバのパラメータをデフォルト設定にリセットする、三種類のリセットコマンドを実行できます。

以下の手順にしたがって、TELNET を利用してソフトリセットを実行してください。

1. 以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。

```
telnet ホスト名 または telnet IP アドレス
```

2. ユーザ ID とパスワードを入力します (デフォルトでは、root と pass です)。
3. 以下のコマンドを入力し、プリントサーバのプロトコルを再起動します。

```
softreset
```

その他の二種類のリセットを実行するには、手順 3 のコマンドを、hardreset (ハードリセット) または default (デフォルト設定にリセット) に置き換えてください。

TELNET のヘルプ

上記の手順 3 で、help と入力してください。利用可能なコマンドのリストが表示されます。

SNMP を利用する

SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用して、Axis プリントサーバのリモート監視および設定を行うことができます。プリントサーバの主な機能がすべてサポートされています。

一般的な情報

SNMP とは、プロトコル、データベース構造の仕様、データオブジェクトの集合を含む、ネットワーク管理のための標準の集合を示します。Axis プリントサーバの SNMP の実装は、TCP/IP 環境で動作します。

管理は、ネットワーク上のホストで動作する SNMP マネージャで行われます。SNMP マネージャは、一つまたは複数のオブジェクトへの参照であるメッセージを利用し、ネットワーク上のデバイスと通信します。

メッセージは、デバイスに対する問い合わせや指示、またはデバイスのある特定のイベントのきっかけとなるアラームの場合があります。オブジェクトは、MIB (Management Information Base) と呼ばれるデータベースに含まれています。MIB-II が標準的なデータベースです。

Axis プリントサーバは MIB-II に対応しています。また、AXIS MIB (プライベートエンタープライズ MIB) も含まれています。

AXIS MIB Axis プリントサーバの SNMP サポートを十分に活用するには、AXIS MIB のようなプライベートエンタープライズ MIB のインストールを行える、SNMP マネージャが必要になります。

AXIS MIB には、以下のオブジェクトが含まれます。

- メニューオブジェクト - SNMP マネージャから Axis プリントサーバの設定を確認したり、変更するのに使用します。詳しくは、121 ページ「第 14 章 パラメータリスト」を参照してください。
- プリントステータスオブジェクトと製品の管理オブジェクト - Axis プリントサーバのプリントジョブの監視、パラメータの変更を保存するのに使用します。
- トラップオブジェクト - 様々なエラーを通知するのに使用します。

技術的な詳細については、任意のテキストエディタを利用して MIB ファイル (*axis.mib*) をご覧ください。

SNMP マネージャから FTP を利用し、AXIS MIB をプリントサーバからお使いの SNMP マネージャにダウンロードすることができます。

以下の手順にしたがって、お使いの SNMP マネージャに AXIS MIB を追加してください。

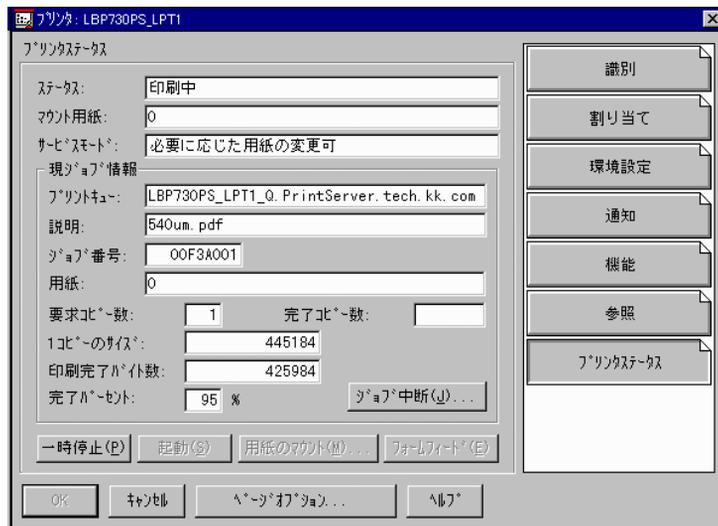
1. FTP を利用して Axis プリントサーバ にログインします。
2. SNMP マネージャが動作するホストに、MIB ファイルを転送します。ファイル名は、*/snmp/axis.mib* です。
3. お使いの SNMP マネージャのマニュアルにしたがって、AXIS MIB をインストールしてください。

ノベル社のユーティリティを利用する

Axis プリントサーバを NetWare 環境にインストールした場合、ノベル社の NetWare アドミニストレータや PCONSOLE を利用して Axis プリントサーバを管理することができます。

NetWare の管理 以下に、NetWare アドミニストレータが提供する便利な機能について説明します。

プリンタステータス 以下のプリンタステータスメニューは、Axis プリントサーバによってサービスされるアクティブなプリントジョブのステータスを表示します。このメニューには、プリントキュー、プリントジョブの説明、プリントジョブのサイズ、ジョブの完了パーセントなどを含む、アクティブなジョブに関する詳しい情報が含まれます。また、このメニューからプリントジョブを中断したり、一時停止することもできます。



NetWare アドミニストレータのプリンタステータスメニュー

通知 Axis プリントサーバに接続されたプリンタのステータスを通知する機能を、NetWare アドミニストレータを利用して有効にしたり無効にしたりできます。ステータスには、ビジー、オフライン、用紙補給、紙詰まりなどがあります。また、ステータスの通知を受けるユーザのリストに、プリントジョブのオーナーや管理者を追加したり、削除したりすることもできます。

プリントレイアウト NetWare の任意の部門単位で、インストール済みの Axis プリントサーバや、作成されたプリントキューを確認することができます。



NetWare のプリントレイアウト

第 11 章 AXIS 5600+、AXIS 5400+ の新機能

この章では、Axis プリントサーバの新しい機能について説明します。これらの機能は、Axis プリントサーバに組み込まれているファームウェアに実装されています。ファームウェアは、Axis のホームページから無料でダウンロードすることができます。詳しくは、115 ページ「ファームウェアをアップグレードする」を参照してください。

Auto-IP

Auto-IP 機能により、プリントサーバをネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスの割り当てが行われます。ネットワーク上で DHCP サーバを利用できる場合、Axis プリントサーバはネットワークに接続されるとすぐに DHCP サーバから IP アドレスを受け取ります。DHCP サーバが動作していない場合、Axis プリントサーバは Auto-IP 機能によって自動的に IP アドレスを割り当てられます。Auto-IP 機能はデフォルトで有効になっています。ユーザによる設定は特に必要はありません。

Auto-IP 機能が利用するデフォルトの IP アドレスは、**169.254.xxx.xxx** になります。

Auto-IP 機能は、Axis プリントサーバの DHCP パラメータが有効になっている場合のみ動作します。また、購入したばかりの Axis プリントサーバのインストール時に、この機能は自動的に有効に設定されます。

Axis プリントサーバを工場出荷時のデフォルト設定にリセットし、プリントサーバが再起動した時に DHCP が利用できなかった場合、Auto-IP 機能によって IP アドレスの割り当てが行われます。

IPP (Internet Printing Protocol)

Axis プリントサーバは、IPP (Internet Printing Protocol) によるインターネットを経由した印刷を可能にします。IPP は、インターネット上のリモートプリンタに印刷を実行するためのプロトコルです。

IPP を利用すれば、インターネットに接続しているユーザが、インターネット上に接続されているプリンタに印刷ジョブを送れるようになります。IPP はシステムに依存しないプロトコルで、TCP/IP に対応する LAN や WAN で使用することができます。

分かりやすく言えば、ユーザは FAX や電子メールの代わりに、通常のネットワーク印刷と同様のカラーオプションなどを利用して、リモートプリンタに印刷することができます。

IPP を利用してリモートプリンタに印刷するには、以下が必要になります。

- Windows 2000 または Windows XP がインストールされているコンピュータ。
- プリントジョブを送信するプリンタは、IPP 機能に対応するプリントサーバ、Axis プリントサーバなどに接続してください。Axis プリントサーバの IPP 機能は、インストール完了時に自動的に有効になります。

IPP プリンタの アドレス構造

IPP印刷を利用する場合、IPPが有効になっているプリントサーバの IP アドレスまたはホスト名が必要になります。IPP はクライアントサーバ型のプロトコルで、以下のアドレス構造が利用できます。

- **1.0 標準** : http: アドレス構造を使用

接続先のプリンタの URL には、以下が含まれます。

1. プリントサーバの IP アドレスまたはホスト名
2. ポート番号 : 631
3. ローカルプリンタのポート名

接続先のアドレス (1.0 標準)

たとえば、Axis プリントサーバのホスト名が *axisps*、ポート番号が *631*、ローカルプリンタのポート名が *LPT1* の場合、接続先のアドレスは *http://axisps:631/LPT1* のようになります。

ホスト名を利用した接続先アドレス	出力先のプリンタ
http://axisps:631/LPT1	LPT1 平行ポートに接続されたプリンタ

利用可能な IPP クライアント

Axis プリントサーバは、IPP1.0 互換の IPP クライアントに対応しています。Windows 2000 または Windows XP をインストールすると、Microsoft IPP クライアントが自動的にインストールされます。

Axis プリントサーバは、各ポートに対して IPP プリンタオブジェクトを一つずつ表示します。IPP クライアントについて詳しくは、IPP クライアントのマニュアルを参照してください。

ファイアウォール について

サーバと IPP クライアントの間に、一つまたは複数のファイアウォールが存在する場合、ファイアウォールの設定変更が必要になる場合があります。IPP は印刷の際に TCP ポート番号 631 を使用するため、サーバとクライアント間に存在するファイアウォールは、ポート上で双方向通信ができるよう設定されている必要があります。ファイアウォールの設定変更については、ネットワーク管理者に相談してください。

始める前に

IPP プリンタで印刷を行う前に、以下について確認してください。

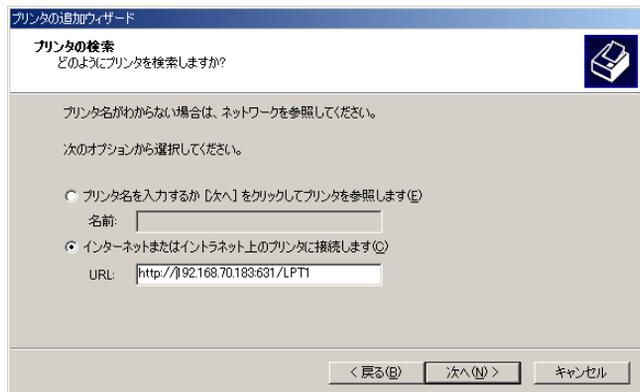
- **プリントサーバのアドレス** - http:// で表されるアドレスには、プリントサーバの IP アドレスまたはホスト名、ポート番号（1.0 標準では 631 を使用）、プリンタポート名が含まれます。
- **プリンタの種類と製造元** - 適切なプリンタドライバをインストールするのに必要です。
- **プリンタポート名** - プリンタが接続されているプリントサーバのプリンタポート名。

プリンタリストに IPP プリンタを 追加して印刷する

この例では、Axis プリントサーバの IP アドレスとして **192.168.70.183**、Axis プリントサーバに接続されているプリンタポートに **LPT1**、利用するプリンタに **Fuji Xerox DocuPrint 201PS** を使用しています。

送信先のアドレスは、**http://192.168.70.183:631/LPT1** となります。

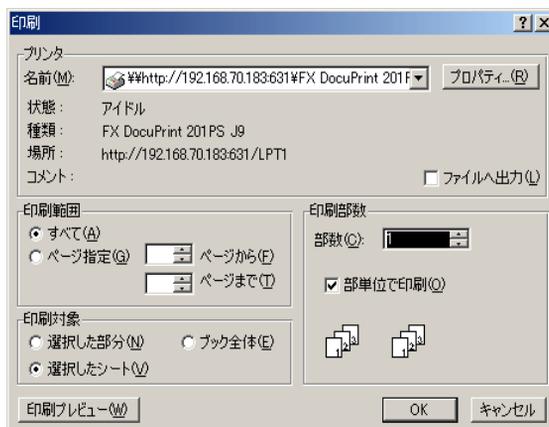
1. 印刷するドキュメントのメニューから、[ファイル] - [印刷] を選択します。
2. [選択するプリンタ] フィールドから、[プリンタの追加] をダブルクリックします。[プリンタの追加ウィザード] が開始します。
3. ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを追加する画面が表示されます。
Windows 2000 : [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
Windows XP : [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. Windows 2000 : [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] オプションを選択し、[URL] フィールドに送信先のアドレスを入力します。[次へ] をクリックします。
Windows XP : [インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] オプションを選択し、[URL] フィールドに送信先のアドレスを入力します。[次へ] をクリックします。



- お使いのコンピュータに送信先のプリンタのドライバがない場合は、メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてドライバをインストールしてください。
- 送信先のプリンタに対応する、製造元とプリンタの種類を選択します。[OK] をクリックします。



- インストールしているプリンタを通常使うプリンタとして使用するか、選択してください。[次へ] をクリックしてプリンタの追加ウィザードを完了します。
- 新しいプリンタが [プリンタの選択] フィールドに表示されます。



- IPP を利用して印刷する準備が整いました。追加したプリンタを選択し、[印刷] ボタンをクリックしてください。

ネットワークの速度

ネットワーク速度のパラメータ (NETWORK_SPEED) を利用して、データ送受信の速度を手動で設定することができます。お使いのネットワークに合わせて、ネットワークスピード (10 または 100M/ ビット) の設定を変更してください。

ネットワーク速度を変更するには、まず Axis プリントサーバの内部 Web ページを開いてください。[管理者] ボタンをクリックし、管理者モードに入ります。[一般設定] ボタンをクリックし、[一般] タブを選択します。以下のオプションから、使用するネットワーク速度を選択します。

AUTO_SENSE (デフォルト値)	データ転送を行うネットワークごとに、最適なネットワークスピードを検出します。
10_HALF-DX	10M ビット / 秒、半二重。
10_FULL-DX	10M ビット / 秒、全二重。
100_HALF-DX	100M ビット / 秒、半二重。
100_FULL-DX	100M ビット / 秒、全二重。

ネットワーク速度のデフォルト値は、AUTO_SENSE です。このオプションは、ほとんどのユーザに適した選択肢です。お使いのネットワークに適合しないオプションを選択した場合、プリントサーバとの接続が切断されることがあります。

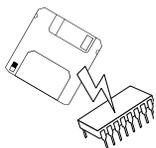
第 12 章 ソフトウェアの更新

更新されたソフトウェアを入手する

以下のソフトウェアは、無料でアップグレードすることができます。アップグレード情報については、Axis のホームページをご覧ください (<http://www.axiscom.co.jp/>)。

- AXIS Print Monitor
- AXIS NetPilot
- AXIS Print Utility for OS/2
- Axis プリントサーバのファームウェア
- *axinstall* スクリプト
- AXIS MIB ファイル

ファームウェアをアップグレードする



以下の方法を利用して、Axis プリントサーバのフラッシュメモリをアップグレードすることができます。

- FTP (TCP/IP)
- AXIS NetPilot のアップグレードウィザード (IPX/SPX)

FTP を利用してアップグレードする

FTP を利用してネットワーク経由でアップグレードを行うには、まずプリントサーバの新しいファームウェアを入手してください。バージョン 6.34 のファームウェアの場合、ファイル名は、5600+_634.bin (製品名_バージョン.bin) のようになります。

この方法を利用してファームウェアのアップグレードを行う前に、Axis プリントサーバに IP アドレスを割り当てておく必要があります。詳しくは、15 ページ「IP アドレスの割り当て」を参照してください。

以下の手順にしたがって、ファームウェアのアップグレードを行ってください。

- 警告！** □ アップグレードを中断しないよう注意してください。アップグレードが途中で中断された場合、修理が必要になることがあります。

1. 以下のコマンドを入力して、Axis プリントサーバにログインします。
`ftp ホスト名 または ftp IP アドレス`
2. ユーザ ID とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザ ID として `root` を利用します。`root` のデフォルトパスワードには、`pass` を入力してください。
3. 以下のコマンドを入力し、バイナリ転送モードに移行します。
`bin`
4. 以下のコマンドを入力し、ファームウェアのアップグレードを実行します。ソフトウェア名は、新しいファームウェアのファイル名です。
`put ソフトウェア名 FLASH`
5. フラッシュローディングが終了するまで、そのまま待ちください。通常、フラッシュローディングには 1～4 分かかります。Axis プリントサーバは、新しいファームウェアを利用して自動的に再起動します。
6. お使いの FTP のバージョンに合わせて、`quit`、`bye`、または `exit` と入力してログアウトしてください。

注意： □ ネットワーク上でアップグレードを妨げるような問題が発生した場合は、修理が必要になることがあります。

AXIS NetPilotP を利用 してアップグレード する

NetWare ネットワークでフラッシュメモリをアップグレードするために推奨される方法です。必要な手続きを通して案内をしてくれるアップグレードウィザードが利用できます。

以下の手順にしたがって、お使いのプリントサーバをアップグレードしてください。

1. まず、更新されたファームウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルを、AXIS NetPilot の Upgrade フォルダに置きます。このフォルダは、AXIS NetPilot のプログラム本体と同じフォルダにあり、AXIS NetPilot をインストールした際にお使いのクライアント上に作成されます。
3. AXIS NetPilot のツールバーから [アップグレード] ボタンをクリックし、アップグレードウィザードを起動します。
4. アップグレードウィザードで示される手順にしたがい、アップグレードを行います。

AXIS NetPilot を利用したファームウェアのアップグレードについて詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。

第 13 章 テストボタン

Axis プリントサーバの側面には、テストボタンが備えられています。テストボタンを利用して、以下のことを行えます。

- テストページを印刷し、プリンタとの接続状態を確認する。
- パラメータリストを印刷し、Axis プリントサーバの現在の設定を確認する。
- Axis プリントサーバのパラメータを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする。

注意： □ プリンタが PostScript ファイル、また ASCII テキストファイルを印刷できない場合、テストページおよびパラメータリストは印刷できません。

テストページ

テストボタンを 1 回押すと、テストページが印刷されます。テストページが印刷されれば、プリンタのインターフェースとの接続は正しく機能しています。テストページには、Axis プリントサーバに関する基本的な情報が含まれています。Axis プリントサーバをプリンタに接続した時は、テストページを印刷することをお勧めします。

注意： □ テストページは、デフォルトで LPT1 ポートに印刷されます。LPT2 ポートまたは COM1 ポートに印刷する場合は、config ファイルに含まれているパラメータの値 (DEF_OUT) を、LPT2 または COM1 に設定してください。

パラメータリスト

テストボタンを 2 回押すと、Axis プリントサーバの現在の設定を示すパラメータリストが印刷されます。パラメータリストには、現在のパラメータ設定の詳しい情報が含まれます。詳しくは、121 ページ「第 14 章 パラメータリスト」を参照してください。

パラメータを変更する場合は、85 ページ「第 10 章 設定と管理」で説明されている方法を利用してください。

注意： □ パラメータリストは、デフォルトで LPT1 ポートに印刷されます。LPT2 または COM1 ポートに印刷する場合は、config ファイルに含まれているパラメータの値 (DEF_OUT) を、LPT2 または COM1 に設定してください。

工場出荷時のデフォルト設定

以下の手順にしたがって、Axis プリントサーバを工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。

1. Axis プリントサーバの外部電源を取り外し、電源を切ってください。
2. テストボタンを押しながら Axis プリントサーバの外部電源アダプタを接続し、電源を入れます。ネットワークインディケータが 1 秒間隔で点滅し始めるまで、テストボタンを押し続けます。この状態になるまで、約 5 秒ほどかかります。
3. テストボタンを放し、ネットワークインディケータが最低 5 回点滅するまで待ちます。
4. ネットワークインディケータが点灯し続けるまで、再びテストボタンを押し続けます。
5. 電源を入れ直し、Axis プリントサーバを再起動します。

Axis プリントサーバは、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。

- 注意：** □ ノードアドレス (NODE_ADDR)、IP アドレス (INT_ADDR)、DHCP の有効・無効の切り替え (DHCP_ENB)、Auto-IP の有効・無効の切り替え (AUTOIP_ENB) を除く他のパラメータは、すべてリセットされます。テストボタンでリセットされないパラメータを変更するには、Web ブラウザから Axis プリントサーバの内部 Web ページにアクセスしてください。詳しくは、85 ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。

第 14 章 パラメータリスト

この章では、Axis プリントサーバのパラメータの概要について説明します。

Config ファイル

表の左側の欄には、config ファイルに表示されるパラメータ名称と、そのデフォルト値を示します。右側の欄には、Axis プリントサーバの内部 Web ページに表示されるパラメータ名を示します。

パラメータの変更を行った場合、ほとんどのパラメータは次のプリントジョブから変更が適用されます。パラメータの説明の中で、「再起動が必要」とされているパラメータの変更を適用するには、Axis プリントサーバを再起動する必要があります。

パラメータの変更方法について詳しくは、85 ページ「第 10 章 設定と管理」を参照してください。

注意： □ パスワードのパラメータ (ROOT_PWD および PROS_PWD) は、root を利用して Axis プリントサーバにログインした時のみ表示されます。テストボタンを利用してパラメータリストを印刷した場合、パスワードパラメータの値は印刷されません。

--- General Menu	
NODE_ADDR. : 00 40 8C 00 00 00	Node Address (ノードアドレス)
NETWORK SPEED. : AUTO_SENSE (AUTO_SENSE, 10_HALF_DX, 10_FULL_DX, 100_HALF_DX, 100_FULL_DX)	Network Speed (ネットワーク速度)
PS_NAME. : AXIS100000	Print Server Name (プリントサーバ名 / 下 6 桁の英数字はプリントサーバのシリアル番号)
ROOT_PWD. : pass	Root Password (root のパスワード)
USERS. :	User and Printer Access List (ユーザのアクセス権リスト)
BASE_URL. : www.axiscom.co.jp	Base URL (ベース URL)
CHARSET. : SHIFT_JIS (SHIFT_JIS, ISO-8859-1, ISO-8859-1, UTF-8)	Character Settings (文字コード)
LANG.: Japanese (English, French, German, Spanish, Japanese)	Language Menu (言語の選択)
AXIS_PRINT_SYSTEM.: YES	Enable compatibility with AXIS Print System (APS の有効・無効)
HP_JETADMIN. : NO (YES, NO)	HP JetAdmin Support (日本語環境では未対応)
DEF_OUT. : PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Internal Printout Destination (内部的な印刷の出力先)
SYS_LOC. :	System Location (システムの場所)
SYS_CONT. :	System Contact (システムの問い合わせ先)

--- TCP/IP Menu

TCP_ENB.	: YES	TCP/IP Enabled (TCP/IP 印刷の有効・無効)
INT_ADDR.	: 0 0 0 0	Internet Address (IP アドレス)
DEF_ROUT.	: 0 0 0 0	Default Router Address (デフォルトゲートウェイ) デフォルトゲートウェイがない時は、0.0.0.0
NET_MASK.	: 0 0 0 0	Net Mask (サブネットマスク) クラス C では 255.255.255.0、自動検知の時は 0.0.0.0
PROS_PWD.	: netprinter	PROS Password (PROS プロトコルのパスワード)
PROS_PRT.	: 35	PROS TCP Port Number (PROS の TCP ポート番号)
LPD_BANN.	: OFF (OFF, AUTO, LAST)	LPD Banner Page Mode (LPD バナーページのモード)
DHCP_ENB.	: YES	DHCP Enabled (DHCP の有効・無効)
AUTOIP_ENB.	: YES	Auto-IP enabled (Auto-IP の有効・無効)
BOOTP_ENB.	: YES	BOOTP Enabled (BOOTP の有効・無効)
RARP_ENB.	: YES	RARP Enabled (RARP の有効・無効)
WINS_ENB.	: YES	WINS Enabled (WINS の有効・無効)
WINS_ADDR1.	: 0 0 0 0	Primary WINS Server Address (プライマリ WINS サーバアドレス)
WINS_ADDR2.	: 0 0 0 0	Secondary WINS Server Address (セカンダリ WINS サーバアドレス)
NBT_SCOPE_ID.	:	NBT Scope ID (WINS の名前とともに使用される NetBIOS スコープの定義)
DNS_ENB.	: YES	DNS Enabled (DNS の有効・無効)
DNS_ADDR1.	: 0 0 0 0	Primary DNS Server Address (プライマリ DNS サーバアドレス)
DNS_ADDR2.	: 0 0 0 0	Secondary DNS Server Address (セカンダリ DNS サーバアドレス)
DOMAIN_NAME.	:	Domain Name (Axis プリントサーバが属するドメイン名)
SLP_SCOPE_LIST.	: DEFAULT	Axis プリントサーバが属する SLP スコープ
SMTP_SERVER:		SMTP を利用するメールサーバ
RTN_OPT.	: NO	Reverse Telnet Options Enabled (Reverse Telnet の有効・無効)
RTEL_PR1.	: 0	PR1 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)
RTEL_PR2.	: 0	PR2 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)
RTEL_PR3.	: 0	PR3 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)
RTEL_PR4.	: 0	PR4 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)
RTEL_PR5.	: 0	PR5 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)
RTEL_PR6.	: 0	PR6 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)
RTEL_PR7.	: 0	PR7 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)
RTEL_PR8.	: 0	PR8 Reverse Telnet Port Number (Reverse Telnet の TCP ポート番号)

--- ControlPrint Menu (この機能は日本語環境では未対応です)

CARPO_CL_ENB.	: NO	---
CARPO_SR_ADDRESS.	: 0 0 0 0	---
CARPO_SR_PORT.	: 2050	---
CARPO_CL_PRINTER.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	---
CARPO_SR_ONLY.	: NO	---
TRUSTED_SR_1.	: 0 0 0 0	---
TRUSTED_SR_2.	: 0 0 0 0	---
TRUSTED_SR_3.	: 0 0 0 0	---
TRUSTED_SR_4.	: 0 0 0 0	---

--- SNMP Menu

READ_COM.	: public	Read Community (読み出しコミュニティ)
WRT_COM.	: pass	Read/Write Community (読み書き可能コミュニティ)
TRAPADDR.	: 0 0 0 0	Trap Address (SNMP トラップアドレス)
TRAP_COM.	: public	Trap Community (SNMP トラップコミュニティ)
SYS_NAME.	:	System Name (システムの名前)
SNMP_AUT.	: DISABLE (DISABLE, ENABLE)	Authentication Failure Trap (認証失敗トラップの有効・無効)
TRAP_PRT.	: DISABLE (DISABLE, ENABLE)	Printer Failure Trap (プリンタトラップの有効・無効)

--- NetWare Menu

NETW_ENB.	: YES	NetWare Enabled (NetWare 印刷の有効・無効)
NETW_TRANSPORT_PROTOCOL.	: DUAL_STACK (IPX_ONLY, IP_ONLY, DUAL_STACK)	NetWare Transport protocols Enabled (NetWare トランスポートプロトコルの有効・無効)
JOB_CHECK_DELAY.	: 5	Job Check Delay (プリントサーバのキューポーリング間隔)
CONF_CHECK_DELAY.	: 300	Configuration Check Delay (自動設定チェックの間隔)
FR_802_3.	: YES	IEEE 802.3 Frame Type Enabled (IEEE802.3 の有効・無効)
FR_ETH_2.	: YES	Ethernet II Frame Type Enabled (Ethernet II の有効・無効)
FR_802_2.	: YES	IEEE 802.2 Frame Type Enabled (IEEE802.2 の有効・無効)
FR_SNAP.	: YES	SNAP Frame Type Enabled (SNAP の有効・無効)
NCP_BURST_MODE.	: YES	NCP Burst Mode Enabled (NCP パースモードの有効・無効) 再起動が必要
PSERVER_NDS_TREE.	:	Axis プリントサーバがログインする NDS ツリーまたはファイルサーバ
PSERVER_NDS_FILESERVER.	:	ファイルサーバ
PSERVER_NDS_DISTINGUISHED_NAME.	:	ツリー内のプリントサーバオブジェクトへのパス
PSERVER_BINDERY1.	:	PSERVER Bindery 1 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY2.	:	PSERVER Bindery 2 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY3.	:	PSERVER Bindery 3 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY4.	:	PSERVER Bindery 4 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY5.	:	PSERVER Bindery 5 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY6.	:	PSERVER Bindery 6 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY7.	:	PSERVER Bindery 7 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY8.	:	PSERVER Bindery 8 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY9.	:	PSERVER Bindery 9 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY10.	:	PSERVER Bindery 10 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY11.	:	PSERVER Bindery 11 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY12.	:	PSERVER Bindery 12 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY13.	:	PSERVER Bindery 13 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY14.	:	PSERVER Bindery 14 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY15.	:	PSERVER Bindery 15 (バインダリファイルサーバ名)
PSERVER_BINDERY16.	:	PSERVER Bindery 16 (バインダリファイルサーバ名)
NPRINTER1.	:	NPRINTER/RPRINTER 1 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER2.	:	NPRINTER/RPRINTER 2 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER3.	:	NPRINTER/RPRINTER 3 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER4.	:	NPRINTER/RPRINTER 4 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER5.	:	NPRINTER/RPRINTER 5 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER6.	:	NPRINTER/RPRINTER 6 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER7.	:	NPRINTER/RPRINTER 7 (プリントサーバ名とスロット番号)
NPRINTER8.	:	NPRINTER/RPRINTER 8 (プリントサーバ名とスロット番号)

--- NetBIOS/NetBEUI Menu		
L\$LM_ENB.	: YES	NetBIOS/NetBEUI Enabled (NetBIOS/NetBEUI印刷の有効・無効)
NB_FR_TYPE.	: FR_AUTO (FR_AUTO, FR_802_2, FR_DIX)	NetBIOS Frame Type (NetBIOSフレームタイプ) 再起動が必要
LPRINT_1.	: AX100000.LP1	Name Printer 1 (プリンタ1の名前)
LLOGIC_1.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 1 (プリンタ1の論理プリンタ)
LPRINT_2.	: AX000000.LP2	Name Printer 2 (プリンタ2の名前)
LLOGIC_2.	: PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 2 (プリンタ2の論理プリンタ)
LPRINT_3.	: AX100086.COM1	Name Printer 3 (プリンタ3の名前)
LLOGIC_3.	: PR3 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 3 (プリンタ3の論理プリンタ)
LPRINT_4.	:	Name Printer 4 Name (プリンタ4の名前)
LLOGIC_4.	: PR4 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 4 (プリンタ4の論理プリンタ)
LPRINT_5.	:	Name Printer 5 (プリンタ5の名前)
LLOGIC_5.	: PR5 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 5 (プリンタ5の論理プリンタ)
LPRINT_6.	:	Name Printer 6 (プリンタ6の名前)
LLOGIC_6.	: PR6 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 6 (プリンタ6の論理プリンタ)
LPRINT_7.	:	Name Printer 7 (プリンタ7の名前)
LLOGIC_7.	: PR7 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 7 (プリンタ7の論理プリンタ)
LPRINT_8.	:	Name Printer 8 (プリンタ8の名前)
LLOGIC_8.	: PR8 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 8 (プリンタ8の論理プリンタ)
--- AppleTalk Menu		
ATLK_ENB.	: YES	AppleTalk Enabled (AppleTalk印刷の有効・無効)
ATK_ZONE.	:	AppleTalk Zone (AppleTalkゾーン)
ZONER_EN.	: YES	HP Zoner Enabled (日本語環境では未対応)
ATK_FONT.	: DEFAULT (DEFAULT, 35N, ALL)	Font (PostScriptフォントセット)
AUTO_DT_PRIN	: NO	Auto-Detect Printer Type (日本語環境では未対応)
APRINT_1.	: AXIS100000_LPT1	Name Printer 1 (プリンタ1の名前/下6桁はプリントサーバのシリアル番号)
ATYPE_1.	: LaserWriter	Type Printer 1 (プリンタ1のタイプ)
ALOGIC_1.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 1 (プリンタ1の論理プリンタ)
BINARY_TYPE_1.	: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Binary Protocol for APRINT_1 (プリンタ1のバイナリプロトコル)
APRINT_2.	: AXIS100086_LPT2	Name Printer 2 (プリンタ2の名前)
ATYPE_2.	: LaserWriter	Type Printer 2 (プリンタ2のタイプ)
ALOGIC_2.	: PR2 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 2 (プリンタ2論理プリンタ)
BINARY_TYPE_2.	: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Binary Protocol for APRINT_2 (プリンタ2のバイナリプロトコル)
APRINT_3.	: AXIS100000_COM1	Name Printer 3 (プリンタ3の名前/下6桁はプリントサーバのシリアル番号)
ATYPE_3.	: LaserWriter	Type Printer 3 (プリンタ3のタイプ)
ALOGIC_3.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8, LPT1, COM1, LPT2)	Logical Printer for Printer 3 (プリンタ3の論理プリンタ)
BINARY_TYPE_3.	: TBCP (TBCP, BCP, NONE)	Binary Protocol for APRINT_3 (プリンタ3のバイナリプロトコル)

--- Printer1 Menu

PR1_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR1_NAME.	:	Name Printer PR1 (プリンタ 1 の名前)
PR1_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第2プリンタ)
PR1_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR1_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR1_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR1_STR.	:	String Substitutions (文字列の置換)
PR1_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR1_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR1_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR1_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16進ダンプモードの有効・無効)
PR1_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript のページサイズ)
PR1_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR1_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR1_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

--- Printer2 Menu

PR2_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR2_NAME.	:	Name Printer PR2 (プリンタ 2 の名前)
PR2_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第2プリンタ)
PR2_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR2_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read back Port (情報のリードバック)
PR2_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR2_STR.	:	String Substitutions (文字列の置換)
PR2_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR2_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR2_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR2_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16進ダンプモードの有効・無効)
PR2_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR2_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR2_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR2_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

--- Printer3 Menu

PR3_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR3_NAME.	:	Name Printer PR3 (プリンタ 3 の名前)
PR3_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第 2 プリンタ)
PR3_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR3_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR3_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR3_STR.	:	String Substitutions (文字列の置換)
PR3_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR3_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR3_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR3_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16 進ダンプモードの有効・無効)
PR3_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR3_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR3_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR3_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

--- Printer4 Menu

PR4_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR4_NAME.	:	Name Printer PR4 (プリンタ 4 の名前)
PR4_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第 2 プリンタ)
PR4_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR4_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR4_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR4_STR.	:	String Substitutions (文字列の置換)
PR4_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR4_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR4_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR4_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16 進ダンプモードの有効・無効)
PR4_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR4_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR4_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR4_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

--- Printer5 Menu

PR5_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR5_NAME.	:	Name Printer PR5 (プリンタ 5 の名前)
PR5_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第2プリンタ)
PR5_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR5_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR5_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR5_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions (文字列の変換)
PR5_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR5_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR5_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR5_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16進ダンプモードの有効・無効)
PR5_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR5_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR5_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR5_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

--- Printer6 Menu

PR6_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR6_NAME.	:	Name Printer PR6 (プリンタ 6 の名前)
PR6_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第2プリンタ)
PR6_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR6_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR6_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR6_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions (文字列の置換)
PR6_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR6_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR6_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR6_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16進ダンプモードの有効・無効)
PR6_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR6_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR6_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR6_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

```

--- Printer7 Menu

```

PR7_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR7_NAME.	:	Name Printer PR7 (プリンタ 7 の名前)
PR7_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第 2 プリンタ)
PR7_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR7_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR7_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR7_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions (文字列の変換)
PR7_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR7_FILT.	: NONE (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR7_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR7_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16 進ダンプモードの有効・無効)
PR7_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR7_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR7_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR7_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

```

--- Printer8 Menu

```

PR8_OUT.	: LPT1 (NONE, LPT1, COM1, LPT2)	Physical Port (物理ポート)
PR8_NAME.	:	Name Printer PR8 (プリンタ 8 の名前)
PR8_SCND.	: PR1 (PR1, PR2, PR3, PR4, PR5, PR6, PR7, PR8)	Secondary Printer (第 2 プリンタ)
PR8_WAIT.	: YES	Wait on Busy (ビジー時の待機の有効・無効)
PR8_IN.	: AUTO (NONE, AUTO)	Read Back Port (情報のリードバック)
PR8_BEF.	:	String Before Print Job (プリントジョブ前の文字列)
PR8_STR.	: 010A020D0A	String Substitutions (文字列の置換)
PR8_CSET.	: NONE (NONE, ISO>IBM, 7UK>IBM, 7SW>IBM, 7GE>IBM, 7FR>IBM, 7ND>IBM, DEC>IBM)	Character Set Conversion (日本語環境では未対応)
PR8_FILT.	: POSTSCR (NONE, POSTSCR, AUTO_PS)	Printer Language Translation (プリンタ言語の変換)
PR8_AFT.	:	String After Print Job (プリントジョブ後の文字列)
PR8_DUMP.	: NO	Hex Dump Mode Enabled (16 進ダンプモードの有効・無効)
PR8_SIZE.	: A4 (A4, LETTER, LEGAL, EXECUT)	PostScript Page Size (PostScript ページサイズ)
PR8_ORNT.	: PORTR (PORTR, LANDS, R_PORTR, R_LANDS)	PostScript Page Orientation (PostScript のページの向き)
PR8_FORM.	: 66 0 100 60 30 50	PostScript Page Format (PostScript ページフォーマット) (MPL, MPP, CPI, LPI, LM, TM)
PR8_FONT.	:	PostScript Font (PostScript フォント / 指定がない時は Courier)

--- LPT1 Menu

L1_CENTR.	: HISPEED (IBM_PC, STNDRD, FAST, HISPEED, HINOACK)	Centronics Interface Timing LPT1 (LPT1 セントロニクス のタイミング)
L1_BSYTM.	: 60	Busy Status Time-Out LPT1 (LPT1 ビジーステータスの タイムアウト /0 の場合すべてのステータスレポートは無 効)
L1_MGM_INFO.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information LPT1 (LPT1 プリンタ管理 情報の有効・無効)
L1_COMMENT.	:	Optional user comment describing the printer at LPT1 (LPT1 プリンタのユーザによるコメント)
L1_BIDIR.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	LPT1 Bi-directional printing (LPT1 の双方向印刷の有効・ 無効)
L1_READT.	: 3	Printer Feedback Delay (プリンタフィードバックの間隔)

--- COM1 Menu

C1_BAUDR.	: 9600 (300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200)	Baud Rate COM1 (COM1 のボーレート)
C1_NBITS.	: 8 (7, 8)	Word Length COM1 (COM1 のワード長)
C1_PARIT.	: NONE (NONE, ODD, EVEN)	Parity COM1 (COM1 のパリティ)
C1_STOPB.	: 2 (1, 2)	Stop Bit COM1 (COM1 のストップビット)
C1_HNSH.	: ROBUST-BOTH (NONE, XON/XOFF, ROBUST, RDY/BSY, BOTH, ROBUST-BOTH)	Handshake Protocol COM1 (COM1 のハンドシェイクプロ トコル)
C1_READT.	: 3	Printer Feedback Delay COM1 (COM1 のプリンタフィード バック遅延)
C1_BSYTM.	: 60	Busy Status Time-Out COM1 (COM1 のビジーステータス タイムアウト /0 の場合すべてのステータスレポートは無 効)
C1_MGM_INFO.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information COM1 (COM1 のプリンタ 管理情報の有効・無効)
C1_COMMENT.	:	Optional user comment describing the printer at COM1 (COM1 プリンタのユーザによるコメント)

--- LPT2 Menu

L2_CENTR.	: HISPEED (IBM_PC, STNDRD, FAST, HISPEED, HINOACK)	Centronics Interface Timing LPT2 (LPT2 セントロニクス のタイミング)
L2_BSYTM.	: 60	Busy Status Time-Out LPT2 (LPT2 ビジーステータスの タイムアウト /0 の場合すべてのステータスレポートは無 効)
L2_MGM_INFO.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	Printer Management Information LPT2 (LPT2 プリンタ管理 情報の有効・無効)
L2_COMMENT.	:	Optional user comment describing the printer at LPT2 (LPT2 プリンタのユーザによるコメント)
L2_BIDIR.	: AUTO (DISABLE, AUTO)	LPT2 Bi-directional printing (LPT2 の双方向印刷の有効・ 無効)
L2_READT.	: 3	Printer Feedback Delay (プリンタフィードバックの間隔)

--- Email Menu		(この機能は日本語環境では未対応です)
EMAIL_NOTIFICATION.:	YES	e-mail Notification (電子メール通知の有効・無効)
REPLY_ADDRESS.:	:	Network Administrator e-mail address (ネットワーク管理者のメールアドレス)
PAPER_JAM_ADDRESS.:	:	e-mail address of paper-jam Administrator (紙詰まりの連絡先のメールアドレス)
OUT_OF_PAPER_ADDRESS.:	:	e-mail address of Out-Of-Paper Administrator (用紙切れの連絡先のメールアドレス)
TONER_LOW_ADDRESS.:	:	e-mail address of Toner-Low Administrator (トナー残量の連絡先のメールアドレス)
NO_TONER_ADDRESS.:	:	e-mail address of No-Toner Administrator (トナー交換の連絡先のメールアドレス)
PRINTER_OFFLINE_ADDRESS.:	:	e-mail address of Printer-Offline Administrator (プリンタ確認の連絡先のメールアドレス)

第 15 章 技術仕様

対応するシステム

- Novell NetWare : NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J、5.1J。NDS とバインダリエミュレーションの両方に対応。最大 16 台のバインダリファイルサーバと 96 個のプリントキューを処理可能。ユーザメッセージに対応。NDPS および PureIP (NetWare 5.1J のみ) に対応。印刷方法 : RPRINTER/NPRINTER、PSERVER、NDPS。
- IBM LAN Server : OS/2 J2.1、J2.11、J3.0、J3.01 の下で動作する LAN Server J3.0、J4.0。
- Microsoft Windows : Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP。
- UNIX : BSD 系 : SunOS 4.x (Solaris 1.x) 等。
System V 系 : SunOS 5.x (Solaris 2.x)、HP-UX、IBM AIX 等。
印刷方法 : LPD、FTP、PROS (名前付きパイプとフィルタ)、Reverse Telnet。
- MacOS : 印刷方法 : AppleTalk Phase 2
- Web ブラウザ : Netscape Navigator 4.x 以上、Microsoft Internet Explorer 4.x 以上。

対応するプロトコル

- NetWare : IPX、SAP、RIP、SPX、NCP、TCP/IP。
- Windows 95/98/Me : NetBIOS/NetBEUI。
- Windows 95/98/Me/
NT/2000/XP : TCP/IP (LPD、FTP、Telnet、Raw TCP、ARP、DHCP、ICMP、IP、TCP、UDP、HTTP、SNMP)。
- Windows 2000/XP : IPP。
- LAN Server : NetBIOS/NetBEUI。
- UNIX: TCP/IP (LPD、FTP、Telnet、Reverse Telnet、PROS、BOOTP、ARP、RARP、DHCP、ICMP、IP、TCP、UDP、HTTP、SNMP、TFTP)。
- MacOS : AppleEtherTalk (AARP、ATP、DDP、NBP、PAP、RTMP、ZIP)。

ネットワーク管理 SNMP-MIB II 準拠 (UDP/IP および IPX 上)、プライベートエンタープライズ MIB を含む。NWAdmin/PCONSOLE でプリントサーバステータスを確認可能。

ハードウェア

AXIS 5600+: 32 ビット 100 MHz RISC コントローラ、2 M バイトのフラッシュメモリ、8 M バイトの RAM。

AXIS 5400+: 32 ビット 100 MHz RISC コントローラ、1 M バイトのフラッシュメモリ、2 M バイトの RAM。

論理ネットワーク
接続 イーサネット: IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP、Ethernet II フレームタイプを同時に使用可能。

ファーストイーサネット: ネットワークスピードの自動検知のための NWAY 対応。IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP、Ethernet II フレームタイプを同時に使用可能。

物理ネットワーク
接続 10BASE-T イーサネット、100BASE-TX ファーストイーサネット用の RJ-45 コネクタ (カテゴリ 5 ツイストペア)。

セキュリティ

UNIX: root のパスワード。ユーザアクセス制限とプリンタアクセス制限 (FTP を利用する場合)。

NetWare: 暗号化パスワード。

論理プリンタ 論理プリンタポートは、プリントジョブの前後に文字列を追加したり、文字列を置換したりすることを可能にします。

パラレルプリンタ

AXIS 5600+: IEEE 1284 準拠高速パラレルポートが 2 つ、25 ピン DSUB コネクタ。持続スループットは最大 1M バイト / 秒。
AppleTalk Ethernet、ReverseTelnet、PROS に対する双方向通信に対応。ECP に対応。

AXIS 5400+: IEEE 1284 準拠高速パラレルポートが 1 つ、36 ピンセントロニクスコネクタ。持続スループットは最大 1M バイト / 秒。
AppleTalk Ethernet、ReverseTelnet、PROS に対する双方向通信に対応。ECP に対応。

シリアルプリンタ

AXIS 5600+ : シリアルポートが 1 つ、RS232C、9 ピン DSUB コネクタ。
XON/XOFF、または RTS/CTS。データ速度は 115,200 ボーまで。

フロントパネル LED インディケータ 2 つ（電源、ネットワーク）。
各種情報を印刷するためのテストボタン。

消費電力

AXIS 5600+ : 専用外部電源 : PS-F (5 VDC、1500 mA)。5 VDC で最大 1A。
PS-H (5.1 VDC、2000mA)。

AXIS 5400+ : 専用外部電源 : PS-B (12V AC、500 mA)。12 VDC で最大 200 mA。

寸法

AXIS 5600+ : 高さ×幅×奥行 : 2.9 × 16.0 × 12.9 cm

AXIS 5400+ : 高さ×幅×奥行 : 2.4 × 6.1 × 12.1 cm

重量

AXIS 5600+ : 0.28 kg

AXIS 5400+ : 0.1 kg

動作環境

AXIS 5600+ : 温度 : 5 ~ 40° C、湿度 : 20 ~ 80 % (結露不可)

AXIS 5400+ : 温度 : 5 ~ 40° C、湿度 : 10 ~ 95% (結露不可)

電波に関する適合性

AXIS 5600+ : VCCI: クラス A
EN 55022/1998, EN55024/1998. FCC Class A.

AXIS 5400+ : VCCI: クラス A
EN 55022/1994, EN50082-1/1992. FCC Class A.



安全性 EN 60950.

すべての仕様は、予告なしに変更されることがあります。

付録 A 保証について

Axis プリントサーバは、お買い上げ頂いてから一年間、センドバックによる無償保証が付いております。ただし、製品に付属の「お客様登録カード」をお送り頂いた方だけのサポートとなります。また、有償で保証期間を一年間だけ延長することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、保証期間終了後の故障に関しては、実費負担となります。

付録 B 用語集

AIX Advanced Interactive eXecutive。IBM 社の様々なコンピュータ上で動作する IBM 社の UNIX オペレーティングシステム。

ARP Address Resolution Protocol。同一ネットワークセグメント上にある他のホストの物理アドレスを調べるための TCP/IP プロトコル。UNIX、Windows 95、98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me で利用できます。ARP は、ルータを越えて使用できません。

BOOTP BOOT Protocol。ホストの IP アドレス等のスタートアップ情報を設定するための TCP/IP プロトコル。UNIX で利用可能。BOOTP を利用するには、システム上に BOOTP デーモンが必要。BOOTP デーモンに対して要求が行われると、ブートテーブル中、目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索され、エントリが見つかった場合はそのホストの IP アドレスが設定される。

BSD Berkeley Software Distribution。米国カリフォルニア大学バークレー校が配布を行ってきた UNIX オペレーティングシステム。

config ファイル プリントサーバのメモリ内にあり、プリントサーバの機能を決定するすべてのパラメータを保持するファイル。config ファイルを編集する（パラメータ設定を変更する）ことにより、ネットワークでの印刷用途に合わせてプリントサーバを設定することが可能。

DHCP Dynamic Host Configuration Protocol。DHCP は Windows NT と UNIX システムで使用することができ、中央のプール領域から一時的な IP アドレスを自動的に割り当てる。選択された DHCP サーバは、要求を行ったホストに未使用の IP アドレスを自動的に割り当て、設定する。また、その IP アドレスの有効期間を定義する確認データを提供。

DHCP を有効に利用するため、Axis プリントサーバは Windows NT ネットワークで利用可能な WINS (Windows Internet Name Service) に対応。

- DNS Domain Name Service。ネットワーク上でホスト名と IP アドレスを対応させる機能。
- FTP File Transfer Protocol。ネットワーク経由でファイルを転送するための TCP/IP プロトコル。
- HTML Hypertext Markup Language。WWW (World Wide Web) やその他のハイパーテキストドキュメントを作成するための標準的なハイパーテキスト言語。
- HTTP Hypertext Transfer Protocol。Web ベースの通信のための TCP/IP プロトコルです。
- IP Internet Protocol。IP アドレスを基に、外に出て行くメッセージをルーティングし、中に入ってくるメッセージを認識することにより、パケット転送を統制するセッション層の TCP/IP プロトコル。
- IPP Internet Printing Protocol。インターネット上のリモートプリンタに印刷を実行するためのプロトコル。IPP を利用すれば、インターネットに接続しているユーザが、インターネット上に接続されているプリンタに印刷ジョブを送ることが可能。IPP はシステムに依存しないプロトコルで、TCP/IP に対応する LAN や WAN で使用できる。
- LED Light Emitting Diode。発光ダイオード。
- LPD Line Printer Daemon。ホスト間のプリントジョブを転送するためのプロトコル。UNIX システムで推奨される方法。ただし、いくつかの System V 系の UNIX システムでは対応していない。
- MIB Management Information Base。ネットワーク設定を監視したり、また変更するために SNMP などが利用するネットワーク構成情報のデータベース。
- NCP NetWare Core Protocol。NetWare クライアントは NCP を利用してサーバのサービスを要求し、サーバは NCP を利用してファイルサービスや印刷サービスのようなサービスを提供する。

- NDS NetWare Directory Services。NetWare サーバやボリュームのようなネットワークリソースを管理する。
- RARP Reverse Address Resolution Protocol。UNIX ネットワークで IP アドレスを設定する TCP/IP プロトコル。RARP を利用するには、ネットワーク上で RARP デーモンが必要となる。RARP は、同一ネットワーク上でのみ動作する。RARP デーモンに対して要求が行われると、物理アドレステーブル中に目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索され、エントリが見つかりるとそのホストの IP アドレスが設定される。
- RISC Reduced Instruction Set Computing。限られた数しかアセンブリ言語命令を持たないプロセッサ。
- SAP Service Advertising Protocol。ネットワークで利用する名前を通知するプロトコル。たとえば、ファールサーバがその存在をネットワーククライアントに対して知らせるために利用する。
- SNMP Simple Network Management Protocol。ネットワーク上のホストやデバイスを管理、監視する TCP/IP プロトコル。
- TCP Transmission Control Protocol。TCP/IP プロトコルスタック中で利用されるコネクション指向のトランスポートレベルプロトコル。
- TFTP Trivial File Transport Protocol。FTP プロトコルを簡素化したもので、プリントサーバが自動的に config ファイルをダウンロードするのに使用する。
- UNIX 元々、AT&T で開発された 32 ビットマルチタスク・マルチユーザオペレーティングシステム。
- URL Uniform Resource Locator。インターネット上で公に利用可能な情報の場所を指定する方法。
- WINS Windows Internet Name Service。動的に割り当てられた IP アドレスに、NetBIOS 名をマップする NetBIOS ネームサーバ。

ウィザード 作業を自動化するためにダイアログを利用してユーザを支援する仕組み。ウィザードは、複雑で経験を必要とする作業を行う手助けとなり、なおかつ経験のあるユーザに対しても操作を速やかに行うことを可能にする。

ファームウェア ファームウェアは読み取り専用のメモリに格納されるプログラムで、コンピュータデバイスに常駐する一部となる。ファームウェアは他のソフトウェアと同様に配布され、プリントサーバのフラッシュメモリ内に、専用のユーザインターフェイスを利用してインストールすることが可能。

フラッシュメモリ プリントサーバのファームウェアは、フラッシュメモリの中に格納される。フラッシュメモリは、シリコンチップで提供され、その他の ROM デバイスと同様に電源が落とされた後でもデータの内容を保持する。プリントサーバ搭載のフラッシュメモリの特徴は、保存されているデータを消去し、書き直すことができるという点で、特に部品の交換などを必要としないため、新しいファームウェアがリリースされると、ネットワーク経由でプリントサーバにフラッシュローディングすることが可能。

論理プリンタ 論理プリンタは、ネットワークと物理プリンタ間のフィルタとして振る舞う。論理プリンタは、ユーザには付加的な性質を持った通常のプリンタとして見える。たとえば、UNIX ワークステーションは、キャリッジリターン (CR) とラインフィード (LF) を必要とする共有プリンタに対し、ラインフィード (LF) しか送信しない場合がある (UNIX の改行はラインフィード一文字であるため)。論理プリンタにより、キャリッジリターン (CR) を追加して、この問題を解決することが可能。

索引

数字

16 進ダンプモード 83

A

Account ファイル 100, 101

Auto-IP 18, 109

axinstall 72

AXIS MIB 105

AXIS NetPilot 56

AXIS Print Monitor 23

C

config ファイル 85, 121

D

DDNS 16

F

FTP 98

UNIX 75

I

IPP 109

IP アドレスの設定

ARP 19, 20

BOOTP 22

DHCP 17

Macintosh 68

RARP 21

L

LPD 74

UNIX 74

N

NDPS 40

NDPS プリンタ

インストール 50

NetWare アドミニストレータ 106

Network インディケータ 9, 10

Novell プリンタマネージャ 50

P

PCONSOLE 106

Power インディケータ 9, 10

PROS A 75

PROS B 75

R

Reverse Telnet 76

S

SNMP 104

Status ファイル 100, 103

T

Telnet 101

W

WINS 16

あ

アップグレード 115

い

インストール 14

か

管理者モード 86, 88

き

キューベース印刷 58

こ

工場出荷時のデフォルト設定 8, 10, 120

コントロールアクセスプリンタ 45

さ

再起動ボタン 90

せ

設定ウィザード 88

設定ファイルの編集

FTP 98

セレクタ 65

そ

双方向印刷 82

て

テストページ 8, 10, 58, 119

テストボタン 8, 10, 119

な

内部 Web ページ 86

ね

ネットワークコネクタ 8, 9

ネットワーク速度 114

ネットワークに接続 12

は

ハードウェア 8

パスワード 87, 121

パブリックアクセスプリンタ 40

パラメータ 121

パラメータリスト 8, 10, 89

印刷 119

ふ

ファームウェア 6, 115, 140

ファクトリデフォルトボタン 90

物理アドレス 15

フラッシュメモリ 140

プリンタポート 8, 9

プリントキュー 57

プリントサーバモード 60

ほ

ホスト名 16

も

文字列の置換 78

ゆ

ユーザ ID 87

ユーザモード 86, 87

り

リセット 103

リモートプリンタモード 60

ろ

論理プリンタ 77